

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	高校2学年1組～6組 (文系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社)	『核心漢字 2500+語彙 1000』(尚文出版), 『現代文 100 字要約ドリル 入門編』(駿台文庫), 『改訂版 読み・書き・覚える 日本文学史必携』(第一学習社), 『生きる現代文キーワード 増補改訂版』(駿台文庫), 『三訂版 プロGRESS現代文総演習 標準編』(いいずな書店), 『進研模試過去問題集 国語』(ラーンス)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へと発展する。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたり、わかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書いている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書いている。	教材をきちんと読んでいる。確かな読解ができている。また、文章の文体を味わうことができる。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語彙を増やし、知見を自分のものとできている。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	「基礎学力到達度テスト」過去問題を用いた、問題演習をする。春休みに宿題としていた年度の問題解説を聞く。 ・基本的な解法と知識を強化する。 ・正答率の低い問題を中心に、解説やそれに関連する知識を参考に理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「自他の『間あい』」(鷺田清一) 問題演習	論理構成を正しくつかむ。 身体論に関する基本的な考え方を学ぶ。 アイデンティティーの形成について多様な視点を持つ。 指示内容の把握について基本的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』1, 2, 3	
	6	小説『山月記』(中島敦)	注意する語句について学ぶ。 文中に用いられた難解な漢語を理解するとともに、漢文調の文体が醸し出す非日常的な雰囲気を味わう。 登場人物、特に李徴の心理とものがたりの展開との関連性を学ぶ。 中島敦に関する基礎知識を学ぶことによって読書の幅を広げる。	
7	7	評論「『私』中心の日本語」(森田良行)	注意する語句について学ぶ。 本文中に具体例としてあげられている慣用表現の中の「世の中」「世間」と「私」の関係性を捉える。 日本語における「私」と「人」の意味を把握する。	
		問題演習	比喩表現や内容説明の基礎的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』4, 5, 6	

2	9	評論「手の変幻」 (清岡卓行)	論理的文章の特徴を理解する。 表現上の特徴に着目し、筆者の理論構造と主張を学ぶ。 抽象的な単語が本文中でどのように使用され、何をさしているのか考える。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物	
		評論「消費社会とは何か」 (國分功一郎)	「浪費」と「消費」の違いについて理解し、各人の身近な問題として捉える。 筆者の主張を確認し、それがどのような論理展開によって導かれているかを理解する。 自らにとっての「贅沢」ないし「消費」を問い直し、現代社会を批判的に問うまなざしを持つ。		
		問題演習	抽象表現・対比構造の基礎的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』7, 8, 9		
	10	小説『こころ』(夏目漱石)	明治期の現代とは異なる言葉の意味用法を学ぶ。 「関係」によって揺れ動く登場人物の心情を、場面に従って正確に読み取る。 漱石に関する文学史上の知識を増やす。		
3	1	評論『『自明性の畏』からの解放』 (見田宗介)	二つの「矛盾」に関して、どこに矛盾があるのか、なぜ矛盾が生じるのかを理解する。 「自明性」の檻の外部に出ることの意義について、考えを深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物	
		2	評論『『グローバル化』の中の異文化理解』 (住原則也)		論の構造を意識した評論文の読解方法を確認する。 グローバル化の二つの動きを理解する。 対象を相対化する視野を育み、より深い知識から自分なりの思想へと自身の自発的学習の契機とする。
		3	問題演習		言い換え表現・要約の基礎的なまとめ方を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』13, 14, 15

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	高校2学年12組 (文系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社)	『核心漢字2500+語彙1000』(尚文出版), 『現代文100字要約ドリル 基礎編 第二版』(駿台文庫), 『改訂版 読み・書き・覚える 日本文学史必携』(第一学習社), 『生きる現代文キーワード 増補改訂版』(駿台文庫), 『大学入試トライアル 私大対策 評論20 スタンダード』(いっずな書店), 『進研模試過去問題集 国語』(ラーンズ)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力の発展へとステップアップする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたり、わかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書いている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書いている。	教材をきちんと読んでいる。確かな読解ができている。また、文章の文体を味わうことができる。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語彙を増やし、知見を自分のものできている。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	「基礎学力到達度テスト」過去問題を用いた、問題演習をする。春休みに宿題としていた年度の問題の解説を聞く。 ・基本的な解法と知識を強化する。 ・正答率の低い問題を中心に、解説やそれに関連する知識を参考に理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「自他の『間あい』」(鷺田清一) 問題演習	論理構成を正しくつかむ。 身体論に関する基本的な考え方を学ぶ。 アイデンティティーの形成について多様な視点を持つ。 演習を重ねる中で評論特有の語彙を獲得する。 ・『私大対策評論20 スタンダード』1～3	
	6	小説『山月記』(中島敦)	注意する語句について学ぶ。 文中に用いられた難解な漢語を理解するとともに、漢文調の文体が醸し出す非日常的な雰囲気味わう。 登場人物、特に李徴の心理とものがたりの展開との関連性を学ぶ。 中島敦に関する基礎知識を学ぶことによって読書の幅を広げる。	
7	7	評論「『私』中心の日本語」(森田良行)	注意する語句について学ぶ。 本文中に具体例としてあげられている慣用表現の中の「世の中」「世間」と「私」の関係性を捉える。 日本語における「私」と「人」の意味を把握する。	
		問題演習	評論でよく狙われるジャンルについて理解を深める。	

2	9	評論「手の変幻」 (清岡卓行)	論理的文章の特徴を理解する。 表現上の特徴に着目し、筆者の理論構造と主張を学ぶ。 抽象的な単語が本文中でどのように使用され、何をさしているのか考える。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
		評論「消費社会とは何か」 (國分功一郎)	「浪費」と「消費」の違いについて理解し、各人の身近な問題として捉える。 筆者の主張を確認し、それがどのような論理展開によって導かれているかを理解する。 自らにとっての「贅沢」ないし「消費」を問い直し、現代社会を批判的に問うまなざしを持つ。	
		問題演習	記述文を作成する上での基礎を学ぶ。 ・『私大対策評論20 スタンダード』7～9	
	10	小説『こころ』(夏目漱石)	明治期の言葉の、現代とは異なる意味用法を学ぶ。 「関係」によって揺れ動く登場人物の心情を、場面に従って正確に読み取る。 漱石に関する文学史上の知識を増やす。	
	11	評論『「集合知」という考え方』(西垣 通)	文章全体の論理構成、展開を理解する。 「AI」と「IA」の違いを読み取り、「AI」の問題点について考える。 コンピューターの活用法について考える。	
3	1	評論『「自明性の畏」からの解放』(見田宗介)	二つの「矛盾」に関して、どこに矛盾があるのか、なぜ矛盾が生じるのかを理解する。 「自明性」の檻の外部に出ることの意義について、考えを深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
		2	評論『「グローバル化」の中の異文化理解』(住原則也)	
	3	問題演習	一年を通して学習したことをもとに演習をくり返す。 ・『私大対策評論20 スタンダード』13～15	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	3	高校2学年7組～11組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社)	『核心漢字 2500+語彙 1000』(尚文出版), 『現代文 100 字要約ドリル 入門編』(駿台文庫), 『改訂版 読み・書き・覚える 日本文学史必携』(第一学習社), 『生きる現代文キーワード 増補改訂版』(駿台文庫), 『三訂版 プロGRESS現代文総演習 標準編』(いっずな書店), 『進研模試過去問題集 国語』(ランズ)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へ発展する。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたり、わかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書いている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書いている。	教材をきちんと読んでいる。確かな読解ができている。また、文章の文体を味わうことができる。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語彙を増やし、知見を自分のものとできている。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	「基礎学力到達度テスト」過去問題を用いた、問題演習をする。春休みに宿題としていた年度の問題解説を聞く。 ・基本的な解法と知識を強化する。 ・正答率の低い問題を中心に、解説やそれに関連する知識を参考に理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「自他の『間あい』」(鷺田清一) 問題演習	論理構成を正しくつかむ。 身体論に関する基本的な考え方を学ぶ。 アイデンティティーの形成について多様な視点を持つ。 指示内容の把握について基本的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』1, 2	
	6	小説『山月記』(中島敦)	注意する語句について学ぶ。 文中に用いられた難解な漢語を理解するとともに、漢文調の文体が醸し出す非日常的な雰囲気を味わう。 登場人物、特に李徴の心理とものがたりの展開との関連性を学ぶ。 中島敦に関する基礎知識を学ぶことによって読書の幅を広げる。	
7	7	評論「『私』中心の日本語」(森田良行)	注意する語句について学ぶ。 本文中に具体例としてあげられている慣用表現の中の「世の中」「世間」と「私」の関係性を捉える。 日本語における「私」と「人」の意味を把握する。	
		問題演習	比喩表現や内容説明の基礎的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』3, 4	

2	9	評論「手の変幻」 (清岡卓行)	論理的文章の特徴を理解する。 表現上の特徴に着目し、筆者の理論構造と主張を学ぶ。 抽象的な単語が本文中でどのように使用され、何をさしているのか考える。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物	
		評論「消費社会とは何か」(國分功一郎)	「浪費」と「消費」の違いについて理解し、各人の身近な問題として捉える。 筆者の主張を確認し、それがどのような論理展開によって導かれているかを理解する。 自らにとっての「贅沢」ないし「消費」を問い直し、現代社会を批判的に問うまなざしを持つ。		
		問題演習	抽象表現・対比構造の基礎的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』5, 6		
	10	小説『こころ』(夏目漱石)	明治期の言葉の、現代とは異なる意味用法を学ぶ。 「関係」によって揺れ動く登場人物の心情を、場面に従って正確に読み取る。 漱石に関する文学史上の知識を増やす。		
	11				
	12	問題演習	心情表現・段落構成把握の基礎的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』7, 8		
3	1	評論『『自明性の畏』からの解放』(見田宗介)	二つの「矛盾」に関して、どこに矛盾があるのか、なぜ矛盾が生じるのかを理解する。 「自明性」の檻の外部に出ることの意義について、考えを深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物	
		2	評論『『グローバル化』の中の異文化理解』(住原則也)		論の構造を意識した評論文の読解方法を確認する。 グローバル化の二つの動きを理解する。 対象を相対化する視野を育み、より深い知識から自分なりの思想へと自身の自発的学習の契機とする。
		3	問題演習		言い換え表現・要約の基礎的なまとめ方を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』9, 10

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	高校2学年14組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社)	『核心漢字2500+語彙1000』(尚文出版), 『現代文100字要約ドリル 基礎編 第二版』(駿台文庫), 『改訂版 読み・書き・覚える 日本文学史必携』(第一学習社), 『生きる現代文キーワード 増補改訂版』(駿台文庫), 『大学入試トライアル 私大対策 評論20 スタンダード』(いっずな書店), 『進研模試過去問題集 国語』(ラーンズ)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力の発展へとステップアップする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたり、わかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書いている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書いている。	教材をきちんと読んでいる。確かな読解ができている。また、文章の文体を味わうことができる。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語彙を増やし、知見を自分のものできている。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	「基礎学力到達度テスト」過去問題を用いた、問題演習をする。春休みに宿題としていた年度の問題解説を聞く。 ・基本的な解法と知識を強化する。 ・正答率の低い問題を中心に、解説やそれに関連する知識を参考に理解を深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「自他の『間あい』」(鷺田清一) 問題演習	論理構成を正しくつかむ。 身体論に関する基本的な考え方を学ぶ。 アイデンティティーの形成について多様な視点を持つ。 演習を重ねる中で評論特有の語彙を獲得する。 ・『私大対策評論20 スタンダード』1～3	
	6	小説『山月記』(中島敦)	注意する語句について学ぶ。 文中に用いられた難解な漢語を理解するとともに、漢文調の文体が醸し出す非日常的な雰囲気味わう。 登場人物、特に李徴の心理とものがたりの展開との関連性を学ぶ。 中島敦に関する基礎知識を学ぶことによって読書の幅を広げる。	
7	7	評論「『私』中心の日本語」(森田良行)	注意する語句について学ぶ。 本文中に具体例としてあげられている慣用表現の中の「世の中」「世間」と「私」の関係性を捉える。 日本語における「私」と「人」の意味を把握する。	
		問題演習	評論でよく狙われるジャンルについて理解を深める。	

2	9	評論「手の変幻」 (清岡卓行)	論理的文章の特徴を理解する。 表現上の特徴に着目し、筆者の理論構造と主張を学ぶ。 抽象的な単語が本文中でどのように使用され、何をさせているのか考える。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物	
		評論「消費社会とは何か」 (國分功一郎)	「浪費」と「消費」の違いについて理解し、各人の身近な問題として捉える。 筆者の主張を確認し、それがどのような論理展開によって導かれているかを理解する。 自らにとっての「贅沢」ないし「消費」を問い直し、現代社会を批判的に問うまなざしを持つ。		
		問題演習	記述文を作成する上での基礎を学ぶ。 ・『私大対策評論20 スタンダード』7～9		
	10	小説『こころ』(夏目漱石)	明治期の言葉の、現代とは異なる意味用法を学ぶ。 「関係」によって揺れ動く登場人物の心情を、場面に従って正確に読み取る。 漱石に関する文学史上の知識を増やす。		
	11	評論『「集合知」という考え方』(西垣 通)	文章全体の論理構成、展開を理解する。 「AI」「IA」の違いを読み取り、「AI」の問題点について考える。 コンピューターの活用法について考える。		
3	1	評論『「自明性の畏」からの解放』(見田宗介)	二つの「矛盾」に関して、どこに矛盾があるのか、なぜ矛盾が生じるのかを理解する。 「自明性」の檻の外部に出ることの意義について、考えを深める。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物	
		2	評論『「グローバル化」の中の異文化理解』(住原則也)		論の構造を意識した評論文の読解方法を確認する。 グローバル化の二つの動きを理解する。 対象を相対化する視野を育み、より深い知識から自分なりの思想へと自身の自発的学習の契機とする。
		3	問題演習		一年を通して学習したことをもとに演習をくり返す。 ・『私大対策評論20 スタンダード』13～15
	12	問題演習	長文を短い時間で読解する経験を重ねる。 ・『私大対策評論20 スタンダード』10～12		
	11	評論『「集合知」という考え方』(西垣 通)	文章全体の論理構成、展開を理解する。 「AI」「IA」の違いを読み取り、「AI」の問題点について考える。 コンピューターの活用法について考える。		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	4	高校2学年1～6組 (文系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『古典B 改訂版』(大修館書店)	『新修 古典文法 二訂版』(京都書房), 『新修 古典文法 ドリル編』(京都書房), 『駿台受験シリーズ 古典文法10題ドリル 古文実践編 改訂版』(駿台文庫), 『必携 新明説漢文』(尚文出版), 『必携 新明説漢シリーズ 基本練習ノート』(尚文出版), 『古文単語301』(尚文出版), 『改訂版 読み・書き・覚える 日本文学史必携』(第一学習社), 『進研模試過去問題集 国語』(ラーンズ), 『古典の演習1 基礎力養成編』(啓隆社)

1. 学習の目標

<p>古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。古典を通して人間や社会に対する考えを深めようとしている。	自分の考えをまとめて相手に分かるように伝えようとしている。また、人の意見を聞き、理解しようとしている。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことや考えたことを文章にまとめられている。	教材をきちんと読んで的確な読解ができています。また、古文・漢文の文体を味わい、音読ができています。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方などを学ぶ。基礎学力到達度テスト対策として、過去問題を解き問題に慣れる。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	古文 説話 『十訓抄』大江山いくのの道 漢文「故事成語」 漱石枕流・糟糠之妻	和歌を軸に、登場人物の言動や心情を読み取る。 1年次の文法を復習する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。 再読文字・疑問・受身などの句法について学習する。	
	6	古文 随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 『徒然草』家居のつきづきしく	登場人物に注意し、主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 作者の人柄と感性の特質を理解し、個性的な感想のおもしろさを味わう。 平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 作者のものの見方、感じ方、考え方を理解する。	
	7	漢文 史伝 『史記』我 何の面目ありて之に見えん	長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。 漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 限定・反語・仮定・使役などの句法について学習する。	

2	9	古文 物語 『大鏡』競べ弓	『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し、理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	漢文 漢詩 「秋浦歌」・「月夜」	近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 詩人たちの人生観や自然観についての認識を深める。	
	11	古文 物語 『平家物語』能登殿の最期	登場人物同士の関係を理解し、その行動と言葉との関わりを考える。 軍記物語としての、すぐれた情景描写に注意し、表現を味わう。 漢語の力強さに注目し、和漢混淆文の特徴を理解する。	
	12	古文 日記 『更級日記』源氏の五十余巻	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や呼応の副詞・助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。	
3	1	漢文 小説 『定伯売鬼』	長文の散文教材を学習し、読解・鑑賞する能力を養う。 物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞する。 疑問・限定・使役など既習の句法について理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	古文 物語 『源氏物語』桐壺・若紫	それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。	
	3	漢文 思想 『孟子』不忍人之心	諸子百家について学習する。 性善、性悪をめぐる古代思想家の考え方を理解し、文章を正しく読解する。	

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	4	高校2学年12組 (文系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『古典B 改訂版』(大修館書店)	『新修 古典文法 二訂版』(京都書房), 『新修 古典文法 ドリル編』(京都書房), 『駿台受験シリーズ 古典文法10題ドリル 古文実践編 改訂版』(駿台文庫), 『必携 新明説漢文』(尚文出版), 『必携 新明説漢シリーズ 基本練習ノート』(尚文出版), 『古文単語301』(尚文出版), 『改訂版 読み・書き・覚える 日本文学史必携』(第一学習社), 『進研模試過去問題集 国語』(ラーゼン), 『古典の演習1 基礎力養成編』(啓隆社), 『古典の演習2 標準編』(啓隆社)

1. 学習の目標

古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。古典を通して人間や社会に対する考えを深めようとしている。	自分の考えをまとめて相手に分かるように伝えようとしている。また、人の意見を聞き、理解しようとしている。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことや考えたことを文章にまとめができている。	教材をきちんと読んでいる。的確な読解ができている。また、古文・漢文の文体を味わい、音読ができている。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方などを学ぶ。基礎学力到達度テスト対策として、過去問題を解き問題に慣れる。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	古文 説話 『十訓抄』大江山いくのの道 漢文「故事成語」 漱石枕流・糟糠之妻	和歌を軸に、登場人物の言動や心情を読み取る。 1年次の文法を復習する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。 再読文字・疑問・受身などの句法について学習する。	
	6	古文 随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 『徒然草』家居のつきづきしく	登場人物に注意し、主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 作者の人柄と感性の特質を理解し、個性的な感想のおもしろさを味わう。 平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 作者のものの見方、感じ方、考え方を理解する。	
	7	漢文 史伝 『史記』我 何の面目ありて之に見えん	長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。 漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 限定・反語・仮定・使役などの句法について学習する。	

2	9	古文 物語 『大鏡』競べ弓	『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し、理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	漢文 漢詩 「秋浦歌」・「月夜」	近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 詩人たちの人生観や自然観についての認識を深める。	
	11	古文 物語 『平家物語』能登殿の最期	登場人物同士の関係を理解し、その行動と言葉との関わりを考える。 軍記物語としての、すぐれた情景描写に注意し、表現を味わう。 漢語の力強さに注目し、和漢混淆文の特徴を理解する。	
	12	古文 日記 『更級日記』源氏の五十余巻	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や呼応の副詞・助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。	
3	1	漢文 小説 『定伯売鬼』	長文の散文教材を学習し、読解・鑑賞する能力を養う。 物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞する。 疑問・限定・使役など既習の句法について理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	古文 物語 『源氏物語』桐壺・若紫	それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。	
	3	漢文 思想 『孟子』不忍人之心	諸子百家について学習する。 性善、性悪をめぐる古代思想家の考え方を理解し、文章を正しく読解する。	

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	2	高校2学年7組～11組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『古典B 改訂版』(大修館書店)	『新修 古典文法 二訂版』(京都書房), 『新修 古典文法 ドリル編』(京都書房), 『駿台受験シリーズ 古典文法10題ドリル 古文実践編 改訂版』(駿台文庫), 『必携 新明説漢文』(尚文出版), 『必携 新明説漢シリーズ 基本練習ノート』(尚文出版), 『古文単語301』(尚文出版), 『改訂版 読み・書き・覚える 日本文学史必携』(第一学習社), 『進研模試過去問題集 国語』(ラーンズ), 『古典の演習1 基礎力養成編』(啓隆社)

1. 学習の目標

<p>古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。古典を通して人間や社会に対する考えを深めようとしている。	自分の考えをまとめて相手に分かるように伝えようとしている。また、人の意見を聞き、理解しようとしている。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことや考えたことを文章にまとめられている。	教材をきちんと読んで的確な読解ができている。また、古文・漢文の文体を味わい、音読ができています。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方などを学ぶ。基礎学力到達度テスト対策として、過去問題を解き問題に慣れる。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	古文 説話『宇治拾遺物語』 漢文 「故事成語」漱石枕流	登場人物の行動に注目して読み、場面の展開を把握する。 1年次の文法を復習する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。 故事成語の叙述のおもしろさを味読する 再読文字や疑問の句法について学習する。	
	6	古文 『枕草子』中納言参り給ひて	登場人物に注意し、主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 作者の人格と感性の特質を理解し、個性的な感想のおもしろさを味わう。 平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。	
	7	漢文 史伝 『史記』我 何の面目ありて之に見えん	長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。 漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 限定・反語・仮定・使役などの句法について学習する。	

2	9	古文 物語『大鏡』競べ弓	『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し、理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	漢文 漢詩「秋浦歌」・「月夜」	近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 詩人たちの人生観や自然観についての認識を深める。	
	11	古文 日記『更級日記』	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や呼応の副詞・助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。	
3	12	漢文 小説『定伯売鬼』	長文の散文教材を学習し、読解・鑑賞する能力を養う。 物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞する。 疑問・限定・使役など既習の句法について理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	1	古文 『源氏物語』若紫	それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。	
	2		物語中の和歌や人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。	
	3	漢文 思想『孟子』不忍人之心	諸子百家について学習する。 性善、性悪をめぐる古代思想家の考え方を理解し、文章を正しく読解する。	

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	3	高校2学年14組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『古典B 改訂版』(大修館書店)	『新修 古典文法 二訂版』(京都書房), 『新修 古典文法 ドリル編』(京都書房), 『駿台受験シリーズ 古典文法10題ドリル 古文実践編 改訂版』(駿台文庫), 『必携 新明説漢文』(尚文出版), 『必携 新明説漢シリーズ 基本練習ノート』(尚文出版), 『古文単語301』(尚文出版), 『改訂版 読み・書き・覚える 日本文学史必携』(第一学習社), 『進研模試過去問題集 国語』(ラーゼン), 『古典の演習1 基礎力養成編』(啓隆社), 『古典の演習2 標準編』(啓隆社)

1. 学習の目標

<p>古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を身につける。また古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢詩・漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。古典を通して人間や社会に対する考えを深めようとしている。	自分の考えをまとめて相手に分かるように伝えようとしている。また、人の意見を聞き、理解しようとしている。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことや考えたことを文章にまとめようとしている。	教材をきちんと読んで的確な読解ができていく。また、古文・漢文の文体を味わい、音読ができていく。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方などを学ぶ。基礎学力到達度テスト対策として、過去問題を解き問題に慣れる。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	古文 説話 『十訓抄』大江山いくのの道 漢文「故事成語」 漱石枕流・糟糠之妻	和歌を軸に、登場人物の言動や心情を読み取る。 1年次の文法を復習する。 漢文訓読に習熟する。 故事成語の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。 再読文字・疑問・受身などの句法について学習する。	
	6	古文 随筆 『枕草子』中納言参り給ひて 『徒然草』家居のつきづきしく	登場人物に注意し、主語を確認して読解する。 敬語について理解する。 作者の人柄と感性の特質を理解し、個性的な感想のおもしろさを味わう。 平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物との関わりについて正確に把握する。 作者のものの見方、感じ方、考え方を理解する。	
	7	漢文 史伝 『史記』我 何の面目ありて之に見えん	長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。 漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 限定・反語・仮定・使役などの句法について学習する。	

2	9	古文 物語 『大鏡』 競べ弓	『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 敬語の意味と用法について復習し、理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	漢文 漢詩 「秋浦歌」・「月夜」	近体詩の形式や表現について理解を深める。 唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 詩人たちの人生観や自然観についての認識を深める。	
	11	古文 物語 『平家物語』 能登殿の最期	登場人物同士の関係を理解し、その行動と言葉との関わりを考える。 軍記物語としての、すぐれた情景描写に注意し、表現を味わう。 漢語の力強さに注目し、和漢混淆文の特徴を理解する。	
	12	古文 日記 『更級日記』源氏の五十余巻	平安時代の日記文学の特色について理解する。 重要古語や呼応の副詞・助動詞の用法などを理解する。 物語作品へのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。	
3	1	漢文 小説 『定伯売鬼』	長文の散文教材を学習し、読解・鑑賞する能力を養う。 物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞する。 疑問・限定・使役など既習の句法について理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	古文 物語 『源氏物語』 桐壺・若紫	それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 物語中の和歌や人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。	
	3	漢文 思想 『孟子』 不忍人之心	諸子百家について学習する。 性善、性悪をめぐる古代思想家の考え方を理解し、文章を正しく読解する。	

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語特講 I	3	高校2学年13組 (理系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』(第一学習社) 『精選 古典B 改訂版』(大修館書店)	『核心漢字2500+語彙1000』(尚文出版), 『現代文100字要約ドリル 基礎編』(駿台文庫), 『改訂版 読み・書き・覚える 日本文学史必携』(第一学習社), 『生きる現代文キーワード 増補改訂版』(駿台文庫), 『三訂版 プロGRESS現代文総演習 標準編』(いっずな書店), 『進研模試過去問題集 国語』(ラーンズ) 『古典文法10題ドリル古文実践編改訂版』(駿台文庫), 『シンプルスタイルシリーズ古文単語301』(尚文出版)

1. 学習の目標

近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を学習する。また、問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へ発展する。また、古典としての古文を通して、ものの見方、考え方、感じ方を広げ古典に親しむことによって人生を豊かにする。また、古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出している。日本文化の理解や異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしている。	自分の考えを他者に伝えるために、考えをまとめたり、わかりやすくしたりするなど工夫している。また、人の意見を的確に聞き取れている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、場面や目的に応じた文章を書いている。また、適切な言葉を使い、正しい構成で文章を書いている。	教材をきちんと読んでいる。確かな読解ができている。また、文章の文体を味わうことができる。さらに、様々な文化に対する関心を深めている。	語彙を増やし、知見を自分のものとしてできている。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	「基礎学力到達度テスト」過去問題を用いた、問題演習をする。春休みに宿題としていた年度の問題解説を聞く。 ・基本的な解法と知識を強化する。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	5	評論「自他の『間あい』」(鷲田清一)	論理構成を正しくつかむ。 身体論に関する基本的な考え方を学ぶ。 アイデンティティーの形成について多様な視点を持つ。	
		説話『宇治拾遺物語』 「検非違使忠明のこと」	短編の説話を読んで、中心となる主題や感動をとらえる力を身につける。説話の意義を考える。 1年次の文法を復習し、助動詞の文法を学ぶ。	
		問題演習	指示内容の把握について基本的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』1	
	6	小説『山月記』 (中島敦)	注意する語句について学ぶ。 文中に用いられた難解な漢語を理解するとともに、漢文調の文体が醸し出す非日常的な雰囲気味わう。 登場人物、特に李徴の心理とものがたりの展開との関連性を学ぶ。中島敦に関する基礎知識を学ぶことによって読書の幅を広げる。	
	7	故事成語『世説新語』 「漱石枕流」	原文のもつリズムや抑揚を学び、訓読調の文体の響きを味わう。寓話を含む表現に注意し、作者の意図を考える。	

2	9	評論『「私」中心の日本語』（森田良行）	注意する語句について学ぶ。 本文中に具体例としてあげられている慣用表現の中の「世の中」「世間」と「私」の関係性を捉える。 日本語における「私」と「人」の意味を把握する。	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	10	随筆『枕草子』「中納言参りたまひて」 問題演習	これまでに学習した古文の知識をふまえ、さらに新しい古文読解技術を学ぶ。作者である清少納言の生活を読み取り、平安時代の宮廷生活について理解を深める。 比喩表現や内容説明の基礎的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』3, 4	
	11	評論「消費社会とは何か」（國分功一郎）	「浪費」と「消費」の違いについて理解し、各人の身近な問題として捉える。 筆者の主張を確認し、それがどのような論理展開によって導かれているかを理解する。 自らにとっての「贅沢」ないし「消費」を問い直し、現代社会を批判的に問うまなざしを持つ。	
3	12	漢文『史記』「沛公 項王に見ゆ」 問題演習	長文を正しく読解することができるように訓練する。 劇的な描写や豊かな人間像を読み取り、異なる文化への理解を深める。 抽象表現・対比構造の基礎的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』5, 6	授業への取り組み 小テスト 定期試験 提出物
	1	小説『葉桜と魔笛』（太宰治）	回想形式であることを確認し、小説全体の構成を学ぶ。 「私」が妹の手紙を見つけてから妹の本心を聞くまでの心情の揺れ動きを丁寧に読み取る。	
	2	思想『韓非子』「侵官之害」（韓非子） 物語『大鏡』「競べ弓」	韓非子の思想の特質を理解し、あわせて今日的な意義を考える。諸子百家の思想をそれぞれ学ぶ。 道隆と道長の心理的葛藤や、伊周の心情を読み取る。 敬語の使い方をおさらいし、習得する。	
	3	問題演習	心情表現・段落構成把握の基礎的な方法を学ぶ。 ・『プロGRESS現代文総演習』7, 8	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史B	3	高校2年14組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『詳説 世界史B 改訂版』(山川出版社)	『グローバルワイド 最新世界史図表 三訂版』(第一学習社), 『世界史用語集 改訂版』(山川出版社), 『山川 一問一答世界史 第3版』(山川出版社)

1. 学習の目標

古代から近現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学んでいる。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察している。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解している。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法	
1	4	序章：先史の世界	人類の進化の過程について把握する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み	
		第1章：オリエンと地中海世界	人類にとっての食糧生産革命(新石器革命)の意義について考察し、農耕・牧畜の開始による文明の成立を理解する。		
		A 古代オリエンと世界	オリエンの古代文明の成立と発展の過程とその後オリエンを統一した2つの帝国の特徴を把握し、違いを考察する。		
			B ギリシア世界		ポリスと古代民主政治の特徴を中心に、古代ギリシア文明の特質を理解し、またオリエン世界が融合してヘレニズム世界が成立したことを把握する。
			C ヘレニズム世界		オリエン世界の影響を受けて発達した地中海世界で民主政治と専制君主政治の相違を理解する。
	5	D ローマ世界	都市国家ローマの共和政の特徴と、支配の拡大に伴う社会の変化について理解する。 元首政期のローマ社会の特徴について整理すると共に、共和政から帝政への移行とその必然性を理解する。 ローマ文明が後世に伝えた影響について理解する。 イラン文明と周辺諸国との関係を、パルティアやササン朝の統治体制、ペルシア文化の特質から考察する。		
	6	第2章：アジア・アメリカの古代文明	インド文明と、今日も残るカースト制社会の起源を理解する。 インダス文明からクシャーナ朝時代までの古代インド史の特質を、仏教を中心に把握する。		
		A インドの古典文明	ヒンドゥー教の成立を中心に、インド世界の基盤が形成された過程を把握する。		
		B 東南アジア文明			
	7	C 中国の古典文明	中国文明の起源を理解し、中華帝国の形成過程を考察する。 黄河文明、邑制国家の成立、社会の変動と諸思想の出現について理解する。 秦漢帝国の中央集権的専制国家の形成、三国時代から隋・唐の時代の諸制度の確立と周辺地位への拡大による東アジア文明圏の形成過程を把握する。		

2	9	第3章:東アジア世界の形成と発展 A 北方民族の活動と中国の分裂 B 東アジア文化圏の形成	北方民族の動きに注目しながら、唐滅亡から宋の成立に至る時期の東アジアの変動について理解する。 唐末から宋代において発展した都市経済や当時の文化について考察し、中国社会の成熟と文化の発展を理解する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み		
		第6章:内陸アジア・東アジア世界の展開 A 東アジア諸地域の自立化 B モンゴルの大帝国	ユーラシア大陸におけるモンゴル民族の勢力拡大、モンゴル帝国の歴史的意義について考察し、支配と文化の東西交流を理解する。 モンゴル帝国の支配体制の特徴を理解し、社会・経済の発展と当時の文化について考察する。			
	10	第7章アジア諸地域の繁栄 A 東アジアの動向 B 清代の中国と隣接諸地域	明、清それぞれによる支配体制の特質を理解し、その社会・経済の発展、当時の文化について考察する。 明、清それぞれによる支配の拡大と、朝貢貿易による東アジア世界の秩序を理解する。			
		第4章:イスラーム世界の形成と発展 A イスラーム世界の成立 B イスラーム世界の発展 C インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	イスラーム教成立の経緯と諸民族へのイスラーム教の普及に伴うイスラーム世界の拡大と、地方政権の成立と発展について理解する。 イスラーム文明の特質を考察し、その融合性や普遍性を理解し、イスラーム文化の世界史的意義について認識する。			
	11	第7章:アジア諸地域の繁栄 C トルコ・イラン世界の展開 D ムガル帝国の興隆と衰退	トルコ世界とイラン世界の特質を理解する。 オスマン帝国の内政や社会の特質を理解し、また、ヨーロッパ世界との関連を視野に入れオスマン帝国を捉える。 インドにおけるイスラーム教とヒンドゥー教の宗教対立と融和の歴史を、ムガル帝国の支配を通して理解する。			
		12	第5章:ヨーロッパ世界の形成と発展 A 西ヨーロッパ世界		東欧世界と西欧中世世界のそれぞれの歴史的特質を国家と宗教の両面から考察する。 封建社会の形勢とその特徴、都市の発展について把握し、西欧中世社会の特質を理解する。	
	3	1	B 東ヨーロッパ世界 C 西ヨーロッパ中世世界の変容 D 西ヨーロッパ中世文化		教皇権の拡大と十字軍を通して、封建制崩壊と西欧外への拡張を理解する。 西欧文化と、ビザンツ・イスラーム世界の関連に注目する。 教皇権衰退と王権伸長の様相から、封建社会の衰退を考察する。 科学精神の目覚めと市民階級の台頭を理解する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
			2		第8章:近世ヨーロッパの形成 A ヨーロッパ世界の拡大 B ルネサンス C 宗教改革	
		3	D ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成		オランダの覇権と英仏の台頭を中心に、17世紀の西欧について理解する。 プロイセンの強国化やロシアの台頭の課程とその影響について、当時の国際関係をふまえて理解する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史B	5	高校2年2・3・12組 (総合進学クラス, 特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『詳説 世界史B 改訂版』(山川出版社)	『グローバルワイド 最新世界史図表 三訂版』(第一学習社), 『世界史用語集 改訂版』(山川出版社), 『山川 一問一答世界史 第3版』(山川出版社)

1. 学習の目標

古代から近現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学んでいる。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察している。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解している。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	序章：先史の世界	人類の進化の過程について把握する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
		第1章：オリエントと地中海世界	人類にとっての食糧生産革命(新石器革命)の意義について考察し、農耕・牧畜の開始による文明の成立を理解する。	
		A 古代オリエント世界	オリエントの古代文明の成立と発展の過程とその後オリエントを統一した2つの帝国の特徴を把握し、違いを考察する。	
	5	B ギリシア世界	ポリスと古代民主政治の特徴を中心に、古代ギリシア文明の特質を理解し、またオリエント世界が融合してヘレニズム世界が成立したことを把握する。	
		C ヘレニズム世界	オリエント世界の影響を受けて発達した地中海世界で民主政治と専制君主政治の相違を理解する。	
		D ローマ世界	都市国家ローマの共和政の特徴と、支配の拡大に伴う社会の変化について理解する。	
			元首政期のローマ社会の特徴について整理すると共に、共和政から帝政への移行とその必然性を理解する。	
6	第2章：アジア・アメリカの古代文明	インド文明と、今日も残るカースト制社会の起源を理解する。		
	A インドの古典文明	インダス文明からクシャーナ朝時代までの古代インド史の特質を、仏教を中心に把握する。		
7	C 中国の古典文明	B 東南アジア文明	ヒンドゥー教の成立を中心に、インド世界の基盤が形成された過程を把握する。	
		中国文明の起源を理解し、中華帝国の形成過程を考察する。		
			黄河文明、邑制国家の成立、社会の変動と諸思想の出現について理解する。	
			秦漢帝国の中央集権的専制国家の形成、三国時代から隋・唐の時代の諸制度の確立と周辺地位への拡大による東アジア文明圏の形成過程を把握する。	

2	9	第3章:東アジア世界の形成と発展 A 北方民族の活動と中国の分裂 B 東アジア文化圏の形成	北方民族の動きに注目しながら、唐滅亡から宋の成立に至る時期の東アジアの変動について理解する。 唐末から宋代において発展した都市経済や当時の文化について考察し、中国社会の成熟と文化の発展を理解する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
		第6章:内陸アジア・東アジア世界の展開 A 東アジア諸地域の自立化 B モンゴルの大帝国	ユーラシア大陸におけるモンゴル民族の勢力拡大、モンゴル帝国の歴史的意義について考察し、支配と文化の東西交流を理解する。 モンゴル帝国の支配体制の特徴を理解し、社会・経済の発展と当時の文化について考察する。	
	10	第7章アジア諸地域の繁栄 A 東アジアの動向 B 清代の中国と隣接諸地域	明、清それぞれによる支配体制の特質を理解し、その社会・経済の発展、当時の文化について考察する。 明、清それぞれによる支配の拡大と、朝貢貿易による東アジア世界の秩序を理解する。	
		第4章:イスラーム世界の形成と発展 A イスラーム世界の成立 B イスラーム世界の発展 C インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	イスラーム教成立の経緯と諸民族へのイスラーム教の普及に伴うイスラーム世界の拡大と、地方政権の成立と発展について理解する。 イスラーム文明の特質を考察し、その融合性や普遍性を理解し、イスラーム文化の世界史的意義について認識する。	
	11	第7章:アジア諸地域の繁栄 C トルコ・イラン世界の展開 D ムガル帝国の興隆と衰退	トルコ世界とイラン世界の特質を理解する。 オスマン帝国の内政や社会の特質を理解し、また、ヨーロッパ世界との関連を視野に入れオスマン帝国を捉える。 インドにおけるイスラーム教とヒンドゥー教の宗教対立と融和の歴史を、ムガル帝国の支配を通して理解する。	
	12	第5章:ヨーロッパ世界の形成と発展 A 西ヨーロッパ世界	東欧世界と西欧中世世界のそれぞれの歴史的特質を国家と宗教の両面から考察する。 封建社会の形勢とその特徴、都市の発展について把握し、西欧中世社会の特質を理解する。	
3	1	B 東ヨーロッパ世界 C 西ヨーロッパ中世世界の変容 D 西ヨーロッパ中世文化	教皇権の拡大と十字軍を通して、封建制崩壊と西欧外への拡張を理解する。 西欧文化と、ビザンツ・イスラーム世界の関連に注目する。 教皇権衰退と王権伸長の様相から、封建社会の衰退を考察する。 科学精神の目覚めと市民階級の台頭を理解する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	2	第8章:近世ヨーロッパの形成 A ヨーロッパ世界の拡大 B ルネサンス C 宗教改革	新航路開拓でポルトガル・スペインが発展したことに気付く。 欧州のみならず、世界各地で生じた社会変容を理解する。 ヒューマニズムについて理解する。 権利の伸長を求めた市民階級存在と宗教改革の関連を理解する。	
	3	D ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	オランダの覇権と英仏の台頭を中心に、17世紀の西欧について理解する。 プロイセンの強国化やロシアの台頭の課程とその影響について、当時の国際関係をふまえて理解する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	日本史B	3	高校2年14組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 詳説日本史B』(山川出版社)	『最新日本史図表 三訂版』(第一学習社), 『改訂版 詳録 新日本史史料集成』(第一学習社), 『山川 一問一答 日本史 第3版』(山川出版社)

1. 学習の目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養う。

2. 評価内容

1, 関心・意欲・態度	2, 考え方・判断	3, 技能・表現	4, 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章 日本文化のあけぼの 1, 文化の始まり 2, 農耕社会の成立 3, 古墳とヤマト政権	更新世の時代に旧石器文化が生まれ、完新世に入って縄文・弥生文化が展開する。その間におきた農耕の開始やそれに伴う国家形成の動きを捉え、4～5世紀の古墳時代にヤマト政権が連合政権を確立していった様子を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	第2章 律令国家の形成 1, 飛鳥の朝廷 2, 律令国家への道 3, 平城京の時代 4, 天平文化	7世紀、律令国家建設の歩みが本格的に進められ、平城京の時代に古代国家を現出し、天平文化が開花する過程を理解する。	
	6	5, 平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1, 摂関政治	8世紀末、平安京遷都などの律令再建の動きを、歴史的背景をもとに考察する。 律令体制が動揺する一方で、土地制度面では農民の成長が見られ、荘園・公領体制に切り替わり、政治面では摂関政治から武士の台頭が目立ち、私権化の方向に進んでいく。文化面では貴族政治の下で国風文化が開花するなど日本独自の社会発展が進む中、古代から中世への過渡期を捉える。	
2	7	2, 国風文化		授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	9	3, 地方政治の展開と武士	11世紀末、院政に続く源平争いを戦い抜いた源頼朝が鎌倉幕府を開き、源氏将軍3代の後、北条氏の執権政治・得宗専制政治が展開する様子を理解する。	
	10	第4章 中世社会の成立 1, 院政と平氏の台頭	鎌倉時代初期の公武二元支配の様子と、承久の乱を契機に武家勢力が公家勢力を圧倒する様子を捉えると同時に、文化面でも公武二元性が見られたことに気付く。	

		2, 鎌倉幕府の成立 3, 武士の社会		
	11	4, 蒙古襲来と幕府の衰退 5, 鎌倉文化	鎌倉幕府滅亡後, 建武新政という古代政権が一時復活するが, この成立と崩壊を契機として武家社会がいつその成長を見せていく様子を考える。	
	12	第5章 武家社会の成長 1, 室町幕府の成立 2, 幕府の衰退と庶民の台頭 3, 室町文化	南北朝動乱期に守護が成長し, 室町幕府の将軍と対立・妥協を行ったが, その後, 応仁の乱を契機に時代が戦国時代へと移行し, 下剋上の風潮のもと戦国大名の激しい構想が展開された様子を理解する。	
3	1	4, 戦国大名の登場 第6章 幕藩体制の確立 1, 織豊政権 2, 桃山文化	16世紀半ばのヨーロッパ人来航を踏まえ, 織豊政権が中世末期の戦国争乱を収束し, 近世の出発点を開いた様子を理解する。織田信長と豊臣秀吉の政策の特色を, 諸史料をもとに考察し, その歴史的意義について考える。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	3, 幕藩体制の成立	織豊政権を引き継いだ形となった徳川氏がいわゆる幕藩体制を固め, 寛永期までに幕府組織を整備し, 対外的にも鎖国体制を完成させることで, 日本の近世社会が成立していった様子を理解する。	
	3	第7章 幕藩体制の展開 1, 幕政の安定	寛永期を画期として幕政が安定期を迎えたことを把握する。	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	日本史B	5	高校2年1・5・6・12組 (総合進学クラス・特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 詳説日本史B』(山川出版社)	『最新日本史図表 三訂版』(第一学習社) 『改訂版 詳録 新日本史史料集成』(第一学習社) 『山川 一問一答 日本史 第3版』(山川出版社)

1. 学習の目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養う。

2. 評価内容

1, 関心・意欲・態度	2, 考え方・判断	3, 技能・表現	4, 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章 日本文化のあけぼの 1, 文化の始まり 2, 農耕社会の成立 3, 古墳とヤマト政権	更新世の時代に旧石器文化が生まれ、完新世に入って縄文・弥生文化が展開する。その間におきた農耕の開始やそれに伴う国家形成の動きを捉え、4～5世紀の古墳時代にヤマト政権が連合政権を確立していった様子を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	第2章 律令国家の形成 1, 飛鳥の朝廷 2, 律令国家への道 3, 平城京の時代 4, 天平文化	7世紀、律令国家建設の歩みが本格的に進められ、平城京の時代に古代国家を現出し、天平文化が開花する過程を理解する。	
	6	5, 平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1, 摂関政治	8世紀末、平安京遷都などの律令再建の動きを、歴史的背景をもとに考察する。 律令体制が動揺する一方で、土地制度面では農民の成長が見られ、荘園・公領体制に切り替わり、政治面では摂関政治から武士の台頭が目立ち、私権化の方向に進んでいく。文化面では貴族政治の下で国風文化が開花するなど日本独自の社会発展が進む中、古代から中世への過渡期を捉える。	
2	7	2, 国風文化		授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	9	3, 地方政治の展開と武士	11世紀末、院政に続く源平争乱を戦い抜いた源頼朝が鎌倉幕府を開き、源氏将軍3代の後、北条氏の執権政治・得宗専制政治が展開する様子を理解する。	
	10	第4章 中世社会の成立 1, 院政と平氏の台頭	鎌倉時代初期の公武二元支配の様子と、承久の乱を契機に武家勢力が公家勢力を圧倒する様子を捉えるとともに、文化面でも公武二元性が見られたことに気付く。	

		2, 鎌倉幕府の成立 3, 武士の社会		
	11	4, 蒙古襲来と幕府の衰退 5, 鎌倉文化	鎌倉幕府滅亡後、建武新政という古代政権が一時復活するが、この成立と崩壊を契機として武家社会がいつその成長を見せていく様子を考える。	
	12	第5章 武家社会の成長 1, 室町幕府の成立 2, 幕府の衰退と庶民の台頭 3, 室町文化	南北朝動乱期に守護が成長し、室町幕府の将軍と対立・妥協を行ったが、その後、応仁の乱を契機に時代が戦国時代へと移行し、下剋上の風潮のもと戦国大名の激しい構想が展開された様子を理解する。	
3	1	4, 戦国大名の登場 第6章 幕藩体制の確立 1, 織豊政権 2, 桃山文化	16世紀半ばのヨーロッパ人来航を踏まえ、織豊政権が中世末期の戦国争乱を収束し、近世の出発点を開いた様子を理解する。織田信長と豊臣秀吉の政策の特色を、諸史料をもとに考察し、その歴史的意義について考える。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	3, 幕藩体制の成立 4, 幕藩社会の構造	織豊政権を引き継いだ形となった徳川氏がいわゆる幕藩体制を固め、寛永期までに幕府組織を整備し、対外的にも鎖国体制を完成させることで、日本の近世社会が成立していった様子を理解する。	
	3	第7章 幕藩体制の展開 1, 幕政の安定	寛永期を画期として幕政が安定期を迎えたことを把握する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地歴・公民	地理B	5	高校2年1・3・4組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『地理B』(東京書籍), 『新詳高等地図』(帝国書院)	『世界の諸地域NOW2020』(帝国書院) 『データブックオブザワールド vol. 33 : 2021』(二宮書店)

1. 学習の目標

系統的内容を学ぶことにより、世界の様々な地域の特徴や共通点を結びつけて理解する。系統的内容を学習した後、地誌的内容を学習することにより、現代世界の地理的認識を養うとともに、多角的な視野を培う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の特徴を学び、現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究する。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、地域性をふまえて多角的・多面的に考察するとともに、国際社会の変化について考察する。	地図や統計など地域に関する諸資料を扱い、地理的事象を追求する技能(読解力・表現方法)を身につける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄やその追究の方法を理解し、知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【村落・都市】 ・集落の形成 ・大都市圏の形成 ・都市機能の分散 ・様々な都市問題	世界の村落・都市の成立要因・分類を学ぶ。 都市の機能が経済の発展とともに変化したことを学び、どのような影響を周囲に与えるか理解する。	定期試験 授業への取り組み 行動観察 提出物
	5	【開発・環境問題】 ・酸性雨 ・地球温暖化 ・オゾン層の破壊 ・砂漠化 ・熱帯林の破壊	世界的視野からみた環境問題・エネルギー問題には、多様な地域があることを理解する。 環境問題とエネルギー問題との間には相互に関連の深い問題も多く、地域ごとに複雑な状況であることを認識し、解決には国際協力が必要で緊急性もあることを理解する。	
	6	【国家と領域】 ・国家の三要素 ・様々な国境 【国家群】 ・国際連合 ・ASEAN・EU・USMCAなど	国家の成立に必要な三要素など基本的知識を踏まえ、領土問題が発生する背景とその要因について理解する。 国家群を世界的視野から地域性をふまえて理解するとともに、国家間の結びつきを地理的に考察する意義を学ぶ。	
2	7	【人口・人口問題】 ・人口構成 ・世界の人口問題	世界の人口分布が偏っていることを理解し、要因を自然環境や社会環境の結びつきから考察する。 人口問題を大きく世界的にみていくと、人口の急増と高齢化の二つに分けられることを理解し、それぞれ地域性があることを理解する。	定期試験 授業への取り組み 行動観察 提出物
	9	【人種・民族】 ・世界の人種と民族 ・言語と宗教 ・民族・領土問題	人類集団の分類のひとつである「人種」「民族」とは何か、また現代の国家を構成する人類の多様な背景を考察する。 世界的視野・地域的視野から種々の民族・領土問題があることを学び、背景・現状の共通性と相違性について理解する。	

3	10	【世界地誌】 ・北アメリカ地誌	北アメリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、世界に大きな影響を与える農牧業・工業の分布や成立背景について、多角的に考察する。	定期試験 授業への取り組み 行動観察 提出物
	11	・南アメリカ地誌	南アメリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、著しい経済発展と今後の課題について考察する。	
		・オセアニア地誌	オセアニアを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特に日本とオーストラリアの貿易を中心に太平洋諸国の現状と課題を考える。	
		・アフリカ地誌	アフリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特にアフリカで発生している多くの政治・経済的問題の多くは、植民地分割が原因になっていることを理解する。	
	12	・ヨーロッパ地誌	ヨーロッパを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、EUの拡大・発展が周辺地域に与える影響を考察する。	
		・西アジア地誌	西アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、石油に依存する経済状況と問題点を考察する。	
	1	・南アジア地誌	南アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特にインドの産業を中心に日本や世界とのつながりを考察する。	
	2	・東南アジア地誌	東南アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、ASEANの結成と拡大をもとに東南アジア地域の経済発展を考察する。	
	3	・東アジア地誌	東アジアを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、日本との密接な関係をもとに世界とのつながりを考察する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	現代社会	2	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『高等学校 改訂版 現代社会』(第一学習社)	『テオリア最新倫理資料集 新版三訂』(第一学習社) 『2022 大学共通テスト 倫理重要問題集』(実教出版) 『2021 新政治・経済資料 三訂版』(実教出版) 『2022 大学入学共通テスト 政治・経済重要問題集』(実教出版)

1. 学習の目標

人間尊重と科学的な精神に基づいて、広い視野に立って、社会と人間についての理解を先哲の考えを通じて深め、現代社会の基本的な問題点と自らのあり方生き方について主体的に考察するとともに、政治学の基本を通じて、現代社会の諸問題について考える力の基礎を養い、良識ある公民としての能力と態度を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に課題に取り組んでいる。	課題を見出し、人間としてのあり方・生き方について、広い視野に立って多面的・多角的に考察している。	教科書・資料集のほかに様々な資料を主体的に選択し活用して、学び方を身につけている。	人間としてのあり方生き方を、先哲の考えを学ぶことによって身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	日本の伝統的な考え方	古代日本思想の重層性や感覚的な倫理基準、清き明き心の重視などを学び、現代の日本人の考え方の原型となる思想を理解する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5		鎮護国家の教えとして伝えられた体系的な仏教が、やがて鎌倉時代以降、誰にでも修行しうる信や行に純粋化した日本仏教へと変容を遂げて民衆に広まっていったことを理解する。	
	6		江戸時代には、哲学的な特色を持つ朱子学が奨励され、天地万物に通じる理のあり方が追究されたことを理解する。	
2	9		江戸時代には、一方で朱子学に反発する日本的な儒学が盛んになったこと、日本の古典を研究して、仏教や儒教の影響を受けない独自の日本人のあり方を求める国学が盛んになり、こうした流れが幕末以降の変革期に大きな役割を果たしたことを理解する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	10	民主政治における個人と国家	「政治」や「経済」という言葉は、ニュースや新聞などでよく耳にする言葉ではあるが、それらの言葉がどういう言葉から生まれ、どのように使われるようになったのかを学ぶ。	
	11		国家の概念や民主政治の誕生に関して、歴史的な背景を概観しながら、理解する。 民主政治のもとになる社会契約説を唱えた啓蒙思想家のホッブズ、ロック、ルソーを紹介し、その理念の内容と差異について理解する。	

3	12	基本的人権の保障と法の支配	法の支配という概念の形成過程を、歴史的背景をふまえながら概観し、近代国家誕生の礎となったことを理解する。基本的人権の歴史的な発展について、社会的背景をふまえながら概観する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	1	日本国憲法の基本原理	現代の政治においては、政党だけではなく多くの集団が政治に参加している多元主義が見られ、政策決定をめぐる様々な競争や調整や妥協が見られることを理解する。近代国家においては、国家権力の専制を防ぎ、国民の権利を守るために憲法を制定して政治を行うことを理解する。わが国においては、近代国家の体裁をととのえる為に大日本帝国憲法が制定された。その内容について理解する。日本国憲法の制定過程について、歴史的背景をふまえながら概観し、その基本原理について学ぶ。明治憲法と日本国憲法の差異について俯瞰する。	
	2 3	基本的人権の保障と新しい人権	自由権、社会権、参政権、平等権、国務請求権の内容をふまえ、それに関わる各種の判例を取りあげながら、現代社会における人権の捉え方や課題について理解する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	倫理	3	高校2年4組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『高校倫理 新訂版』(実教出版)	『テオリア最新倫理資料集 新版三訂』(第一学習社) 『2022 大学共通テスト 倫理重要問題集』(実教出版)

1. 学習の目標

人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己確立を目指し、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
思想に対する関心や、意欲を高めることができたか。意欲的に学習課題に取り組んでいる。	取り上げた先哲を、歴史的状況の中で理解することができる。	学習の中で追求し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけている。	政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し、その知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	人間としての自覚 1. ギリシャ思想	神話的世界観に対して疑念を抱く人々が始めた自然哲学時代について学ぶ。 ミレトス学派を中心に万物の根源は何であるかという事を模索した自然哲学者たちを学び、概観する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	5	自然哲学とソフィスト	自然哲学者の一部としてとらえられる向きもあるが、直接民主制下でのポリスにおいては、自らの弁論術を卓越させるために、ソフィストが台頭したことと、その思想について理解する。 相対主義や感覚主義を唱えるソフィストに対し、問答法と呼ばれる手法で真の知に迫ろうとしたソクラテスについて学ぶ。	
	6	ソクラテス プラトン アリストテレス	ソクラテスに師事していた弟子のうち、最も信頼されていたプラトンについて学ぶ。彼の最も特徴的な思想である「イデア論」について学ぶ。 幼少より天才と称され、のちに「万学の祖」とも称されるアリストテレスについて学ぶ。師のプラトンの理想主義に反対し、個物の実態はどこまでも現実の中に有るべきだという現実主義を学ぶ。 ポリス崩壊のため世界市民として生きていくことを余儀なくされた時代の個人主義と世界市民思想について学ぶ。	
	7	2. 宗教とは何か キリスト教 イスラーム	宗教分野では、歴史的・社会的背景をふまえ、基本的な内容を理解する。 キリスト教のアガペーや隣人愛の精神を通して、他者との親愛なる関係を構築すべく、豊かな心情を修得する。 ムハンマドによって唱えられたイスラームの教えとイスラーム社会の特色について理解する。	
2	9	現代に生きる人間の倫理	ルネサンスが近代の幕開けとなった運動であり、新たな人間像を提示し、人間中心主義を展開していったことを理解する。	定期試験 授業への取り組み

		人間の尊厳	また、ルネサンスとともに宗教改革は近代を作り出すきっかけとなったことを理解し、プロテスタントの自律の精神は、市民社会の成立などののちの歴史に大きな影響を与え、現代の我々の生活にもその影響が見られることを発見する。	提出物
	10	科学技術と人間	ヨーロッパにおける中世末期から近世初期にかけての自然観の転換と経験論・合理論という近代科学や思想の源流となった学問の方法について理解する。	
		民主社会と自由の実現	社会契約説が思想的ベースとなって近代民主社会が成立し、民主社会において人間の生き方が探求されたことや、人間の尊厳や社会性が考察されことを、カントやヘーゲルの思想から学ぶ。	
		社会と個人	資本主義の発展にともなう諸問題を背景に誕生した社会の改良を目指す思想や、社会の進歩や改善を唱える思想、さらに社会を変革して新たな社会をつくらうとする思想について学ぶ。また、社会の中の個人の主体性についての思想を理解する。	
	11	人間への新たな問い	第二次世界大戦が終結し、核兵器による破滅の機器や地球規模の環境破壊など、20世紀には新たな問題が次々と浮上した。そうしたなか誕生した、近代の人間中心主義を根本的に反省し、改めて人間の現実をみつめなおした思想を理解する。	
	12			
3	1	社会参加と幸福	20世紀になると、生命への畏敬を取り戻し、すべてを同胞として連帯し、共生していく社会を目指す思想が現れたことを把握し、人や生命が互いに幸福であるということはどういうことなのかをガンジーの思想やマザー＝テレサの行動などから考える。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	政治経済	2	高校2年4組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 政治・経済』(数研出版)	『2021 新政治・経済資料 三訂版』(実教出版) 『2022 大学入学共通テスト 政治・経済重要問題集』 (実教出版)

1. 学習の目標

民主主義の本質について理解を深めるとともに、理論的・体系的に理解し、現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に捉える。これらの理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。	現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係について基本的な事柄、本質や特質などを理論的・体系的に理解し、基本的な概念や理論を知識として身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第2編 第1章 現代経済のしくみと特質 1. 経済活動の意義と経済体制	現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているのかを理解するとともに、資本主義経済の特徴についても捉える。 資本主義経済と比較しながら社会主義経済とはどのような経済体制であるかを理解するとともに、今日の代表的な例として中国経済にも関心を向ける。	定期試験 授業への取り組み
	5	2. 資本主義経済の発展と変容 3. 経済活動の主体	3つの経済主体について学び、経済活動は人体の血液のように循環しており、非常に多くの個人や企業が関わりながら、生産と消費が繰り返されて成り立っている事を認識する。	
	6	4. 市場経済のしくみ	市場経済の持つメカニズムについて理解し、需給の動向が市場に与える影響について学ぶ。	
	7	5. 物価の動向	インフレとデフレの要因や、それによる社会全体への影響について学ぶ。	
2	9	6. 財政のしくみと租税	景気変動の要因について理解する。 財政活動による景気の調整や、国家予算の内訳、国債費の増加に伴う諸々の問題について理解する。	定期試験 授業への取り組み
	10	7. 金融のしくみと働き	景気の変動が激しくなると経済が混乱する為、政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し、国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。	

3	11 12	8, 戦後日本経済の歩み	戦後日本の経済の発展を時系列に眺め、その流れの中でターニングポイントとなる政策やそれに伴う物価の変動、諸問題について考察する。	定期試験 授業への取り組み
	1	9, 中小企業と農業・食料 10, 公害防止と環境保全	日本経済における中小企業の意義について理解し、その可能性について模索する。 戦後から現代における農業問題の変遷について理解し、現状の日本の農業問題についても理解する。	
	2	11, 消費者問題と消費者保護 12, 労使関係と労働市場	地球規模での問題といえる環境問題とその対策について学び、未来を担う責任を感じる。 現代社会において消費者主権の観点から、どのような問題があるかを学ぶ。 働き方改革が叫ばれる中、より良い労働環境や労使関係とはどのようなものかを模索する。	
	3	13, 少子高齢社会と社会保障	近年、社会保障費の拡大が進み、若年層への負担増が叫ばれる中で、福祉国家としてこれからあるべき姿を模索する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	倫理政経	3	高校2年14組 (特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『高校倫理 新訂版』(実教出版) 『改訂版 政治・経済』(数研出版)	『テオリア最新倫理資料集 新版三訂』(第一学習社) 『2022 大学共通テスト 倫理重要問題集』(実教出版) 『2021 新政治・経済資料 三訂版』(実教出版) 『2022 大学入学共通テスト 政治・経済重要問題集』 (実教出版)

1. 学習の目標

<p>人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己確立を目指し、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。民主主義の本質について理解を深めるとともに、理論的・体系的に理解し、現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に捉える。これらを踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につける。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
<p>思想に対する関心や、意欲を高めることができている。意欲的に学習課題に取り組んでいる。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高めるとともに、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。</p>	<p>取り上げた先哲を、歴史的状況の中で理解することができる。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。</p>	<p>学習の中で追求し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけることができている。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現している。</p>	<p>政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し、その知識を身につけることができている。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現している。</p>

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	人間としての自覚 1. ギリシャ思想	神話的世界観に対して疑念を抱く人々が始めた自然哲学時代について学ぶ。 ミレトス学派を中心に万物の根源は何であるかという事を模索した自然哲学者たちを学び、概観する。	定期試験 授業態度への取り組み 提出物
	5	自然哲学とソフィスト	自然哲学者の一部としてとらえられる向きもあるが、直接民主制下でのポリスにおいては、自らの弁論術を卓越させるために、ソフィストが台頭したことを理解し、その思想について理解する。 相対主義や感覚主義を唱えるソフィストに対し、問答法と呼ばれる手法で真の知に迫ろうとしたソクラテスについて学ぶ。	
	6	ソクラテス プラトン アリストテレス	ソクラテスに師事していた弟子のうち、最も信頼されていたプラトンについて学ぶ。彼の最も特徴的な思想である「イデア論」について学ぶ。 幼少より天才と称され、のちに「万学の祖」とも称されるアリストテレスについて学ぶ。師のプラトンの理想主義に反対し、個物の実態はどこまでも現実の中に在るべきだという現実主義を学ぶ。	

2	7	ヘレニズム思想 2. 宗教とは何か キリスト教 イスラーム	ポリス崩壊のため世界市民として生きていくことを余儀なくされた時代の個人主義と世界市民思想について学ぶ。 宗教分野では、歴史的・社会的背景をふまえ、基本的な内容を理解する。 キリスト教のアガペーや隣人愛の精神を通して、他者との親愛なる関係を構築すべく、豊かな心情を修得する。 ムハンマドによって唱えられたイスラームの教えとイスラーム社会の特色について理解する。 ルネサンスが近代の幕開けとなった運動であり、新たな人間像を提示し、人間中心主義を展開していったことを理解する。また、ルネサンスとともに宗教改革は近代を作り出すきっかけとなったことを理解し、プロテスタンティズムの自律の精神は、市民社会の成立などののちの歴史に大きな影響を与え、現代の我々の生活にもその影響が見られることを発見する。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	9	第2編 第1章 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳		
	10	科学技術と人間 民主社会と自由の実現	ヨーロッパにおける中世末期から近世初期にかけての自然観の転換と経験論・合理論という近代科学や思想の源流となった学問の方法について理解する。 社会契約説が思想的ベースとなって近代民主社会が成立し、民主社会において人間の生き方が探求されたことや、人間の尊厳や社会性が考察されたことを、カントやヘーゲルの思想から学ぶ。	
	11	第2編 第1章 現代経済のしくみと特質 経済活動の意義と経済体制	現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているのかを理解するとともに、資本主義経済の特徴についても捉える。	
3	12	資本主義経済の発展と変容 経済活動の主体 市場経済のしくみ	資本主義経済と比較しながら社会主義経済とはどのような経済体制であるかを理解するとともに、今日の代表的な例として中国経済にも関心を向ける。 経済活動は人体の血液のように循環しており、非常に多くの個人や企業が関わりながら、生産と消費が繰り返されて成り立っている事を認識する。 現代の資本主義経済体制に求められているものは何かを捉える。 市場経済の持つメカニズムについて理解し、需給の動向が市場に与える影響について学ぶ。	定期試験 授業への取り組み 提出物
	1	物価の動向 財政のしくみと租税	インフレとデフレの要因や、それによる社会全体への影響について学ぶ。 景気の変動が激しくなると経済が混乱する為、政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し、国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。 景気変動の要因について理解する。 財政活動による景気の調整や、国家予算の内訳、国債費の増加に伴う諸々の問題について理解する。	
	2 3	金融のしくみと働き	景気の変動が激しくなると経済が混乱する為、政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し、国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	高校2年1～6組(文系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『数学Ⅱ』(数研出版)	『マスグレード数学Ⅱ+B』(啓林館) 『はぎ取り式 練習ドリル数学Ⅱ 標準編』(数研出版)

1. 学習の目標

図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数, 微分と積分について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身に付けるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1年次の総復習	数学Ⅰ, Aの総復習	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	5	3章 図形と方程式	2直線の関係と連立1次方程式の解, 2直線の交点を通る直線の方程式, 直線に関して対称な点, 点と直線の距離, 図形の性質の証明	
		1節 点と直線		
		4. 2直線の関係		
	6	2節 円	円の方程式, $x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形 円と直線の共有点, 円と直線の位置関係, 円と接線の方程式 2つの円の位置関係, 2つの円の共有点	
		5. 円の方程式		
		6. 円と直線		
7. 2つの円				
7	3節 軌跡と領域	軌跡と方程式 直線を境界線とする領域, 円を境界線とする領域, 連立不等式の表す領域, 領域と最大・最小, 領域を用いた証明法		
	8. 軌跡と方程式			
	9. 不等式の表す領域			
2	9	4章 三角関数	一般角, 動径の表す角, 弧度法, 扇形の弧の長さとの面積 一般角の三角関数, 三角関数の相互関係 $\theta+2n\pi$ の三角関数, $\theta+\pi, \theta+\pi/2$ の三角関数 $y=\sin\theta, y=\cos\theta$ のグラフ, $y=\tan\theta$ のグラフ, 三角関数のグラフの特徴, いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式, 不等式, 三角関数を含む関数の最大値, 最小値	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
		1節 三角関数		
		1. 一般角と弧度法		
		2. 三角関数		
		3. 三角関数の性質		
10	2節 加法定理	正弦, 余弦の加法定理, 正接の加法定理, 2直線のなす角 2倍角の公式, 半角の公式, 三角関数を含む方程式, 不等式 三角関数の合成, 三角関数の合成の応用		
	6. 加法定理			
10	7. 加法定理の応用	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数		
	8. 三角関数の合成			
	5章 指数関数と対数関数			
		1. 指数の拡張		

3	11	2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	指数関数のグラフ, 指数関数の性質 対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式, 不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	12	6章 微分法と積分法 1節 微分係数と 導関数 1. 微分係数 2. 導関数	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数	
	1	2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと 方程式・不等式	接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大, 極小 最大値・最小値 方程式の実数解の個数, 不等式の証明	
	2	3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積	
	3			

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	高校2年12組(文系特進クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学Ⅱ』(数研出版)	『マスマグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館) 『フォーカスゴールド数学Ⅱ+B 4th Edition』(啓林館)

1. 学習の目標

指数関数・対数関数, 微分と積分について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識する。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとしている。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決しようとしている。	基本的な概念, 原理・法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法		
1	4	第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質 対数, 対数の性質, 底の変換公式	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等		
		5	4. 対数関数 5. 常用対数		対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用	
	6	第6章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1. 微分係数	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味			
		2. 導関数 2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化	導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大・極小			
		7	5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと方程式・不等式		方程式の実数解の個数, 不等式の証明	
	2	9	3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分		導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積,	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
		10	9. 面積		絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積	

3	11	【入試に向けた演習】	数学Ⅰの総合演習	授業への取り組み 学年末試験 小テスト 提出物 等
	12			
	1	【入試に向けた演習】	数学Ⅱの総合演習	
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	5	高校2年7～11組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『数学Ⅱ 改訂版』(数研出版), 『数学Ⅲ 改訂版』(数研出版)	『マスグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館) 『マスグレード 改訂版 数学Ⅲ』(啓林館) 『はぎ取り式練習ドリル 数学Ⅱ 標準編』(数研出版) 『はぎ取り式練習ドリル 数学Ⅲ 標準編』(数研出版)

1. 学習の目標

図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数, 微分と積分について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識できる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用できる。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決する。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第3章 図形と方程式		授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
		3. 直線の方程式 4. 2直線の関係	2直線の交点を通る直線の方程式, 直線に関して対称な点, 点と直線の距離, 図形の性質の証明	
		2節 円 5. 円の方程式	円の方程式, $x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形,	
	5	6. 円と直線 7. 2つの円	円と直線の共有点, 円と直線の位置関係, 円の接線の方程式 2つの円の位置関係, 2つの円の共有点	
		3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	直線を境界とする領域, 円を境界とする領域, 連立不等式の洗わず領域, 領域と最大・最小, 領域を利用した証明法	
		6	第4章 三角関数 1節 三角関数	
	6	1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ	一般角, 動径の表す角, 弧度法, 扇形の弧の長さとの面積 一般角の三角関数, 三角関数の相互関係 $\theta+2n\pi, -\theta, \theta+\pi, \theta+\pi/2$ の三角関数 $y=\sin\theta, y=\cos\theta, y=\tan\theta$ のグラフ, 三角関数のグラフの特徴, いろいろな三角関数のグラフ	
5. 三角関数の応用		三角関数を含む方程式・不等式, 三角関数を含む関数の最大値・最小値		
7	2節 加法定理 6. 加法定理	正弦・余弦・正接の加法定理, 2直線のなす角		
	7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	2倍角の公式, 半角の公式, 三角関数を含む方程式・不等式 三角関数の合成, 三角関数の合成の応用		

2	9	第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物		
	10	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用			
	11	第6章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数			
		2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと方程式・不等式	接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大・極小 方程式の実数解の個数, 不等式の証明			
		3節 積分法 7. 不定積分	導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分			
	1 2	8. 定積分 9. 面積	定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積			
	3	1	【数学Ⅲ】 第3章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数		$y=k/x$ のグラフ, $y=k/(x-p)+q$ のグラフ, $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフ, 分数関数のグラフと直線の共有点 $y=\sqrt{ax}$ のグラフ, $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフ, 無理関数のグラフと直線の共有点 逆関数, 逆関数の性質, 指数関数の逆関数, 合成関数	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
		2	第4章 極限 1節 数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列		数列の収束と発散, 数列の極限の性質 無限等比数列の極限, 無限等比数列の極限の応用, 漸化式で定められる数列の極限	
		3	3. 無限級数 2節 関数の極限 4. 関数の極限 5. 三角関数と極限		無限級数の収束と発散, 無限等比級数, 循環小数と無限等比級数, 無限級数の性質, 無限級数の収束・発散と項の極限 極限の計算 $\sin x/x$ の極限	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	5	高校2年13組(理系特進クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学Ⅱ』(数研出版) 『改訂版 数学Ⅲ』(数研出版)	『マスグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館) 『マスグレード 改訂版 数学Ⅲ』(啓林館) 『フォーカスゴールド 数学Ⅱ+B』(啓林館) 『フォーカスゴールド 数学Ⅲ』(啓林館)

1. 学習の目標

指数と対数, 微分法と積分法, 関数, 極限, 微分法, 微分法的应用, 積分法, 積分法的应用について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決する。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数 6章 微分法と 積分法 1節 微分係数と 導関数	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質 対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用 平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味, 関数の極限值 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 関数 x の n 乗の導関数の公式の証明	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	5	1. 微分係数 2. 導関数 2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと 方程式・不等式 3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大, 極小 方程式の実数解の個数, 不等式の証明 導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積, 放物線と直線で囲まれた図形の面積 $y=k/x$ のグラフ, $y=k/(x-p)+q$ のグラフ, $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフ, 分数関数のグラフと直線の共有点 $y=\sqrt{ax}$ のグラフ, $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフ, 無理関数のグラフと直線の共有点 逆関数, 逆関数の性質, 指数関数の逆関数, 合成関数 数列の収束と発散, 数列の極限の性質 無限等比数列の極限, 無限等比数列の極限の応用,	
	6	3章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数 合成関数 4章 極限 1節 数列の極限		

2	7	1. 数列の極限	漸化式で定められる数列の極限	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
		2. 無限等比数列	無限級数の収束と発散, 無限等比級数, 循環小数と無限等比級数, 無限級数の性質, 無限級数の収束・発散と項の極限	
		3. 無限級数		
	2節 関数の極限	$x \rightarrow a$ のときの関数の極限とその性質, 極限の計算,		
	9	4. 関数の極限	極限が有限な値でない場合, 関数の片側からの極限, $x \rightarrow \infty$, $x \rightarrow -\infty$ のときの関数の極限, 指数関数, 対数関数の極限	
		5. 三角関数と極限	三角関数の極限, $\sin x/x$ の極限, 三角関数の極限の応用	
	10	6. 関数の連続性	関数の連続性, 連続関数の性質, 微分係数, 微分可能と連続, 導関数	
		5章 微分法	導関数の性質, 積の導関数, 商の導関数, 合成関数の微分法	
		1. 微分係数と導関数	三角関数の導関数, 対数関数の導関数, 指数関数の導関数	
		2. 導関数の計算	方程式 $F(x, y)=0$ で定められる関数の導関数, 媒介変数表示と導関数	
3. いろいろな関数の導関数				
3	11	4. 第 n 次導関数	曲線 $y=f(x)$ の接線と法線, 共有点で同じ接線をもつ2つの曲線	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
		5. 関数のいろいろな表し方と導関数		
	12	6章 微分法の応用	$F(x, y)=0$ で表される曲線の接線と法線, 方程式の重解と微分	
		1節 導関数の応用	平均値の定理, 平均値の定理の利用, 平均値の定理の証明	
	12	1. 接線と法線	関数の増加と減少, 関数の極大と極小	
		2. 平均値の定理	曲線の凹凸, 関数のグラフの概形, 第2次導関数と極限	
	3. 関数の値の変化	不等式の証明, 方程式の実数解の個数		
	4. 関数の最大最小			
	12	5. 関数のグラフ	直線上の点の運動, 平面上の点の運動	
		6. 方程式, 不等式への応用		
3	1	2節 速度と近似式	1次と2次の近似式	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
		7. 速度と加速度		
	2	8. 近似式	不定積分, 不定積分の基本性質, 三角関数, 指数関数の不定積分	
		7章 積分法		
	2	1節 不定積分	$f(ax+b)$ の不定積分, 置換積分法, $f(g(x))g'(x)$ の不定積分, $g'(x)/g(x)$ の不定積分	
		1. 不定積分とその基本性質	分数関数の不定積分, 三角関数に関する不定積分	
	2. 置換積分法			
	2	3. 部分積分法	定積分, 定積分の性質, 絶対値のついた関数の定積分	
		4. いろいろな関数の不定積分		
	2	2節 定積分	定積分の置換積分法, 偶関数, 奇関数の定積分	
5. 定積分とその基本性質				
3	6. 定積分の置換積分法	定積分で表された関数, 定積分と和の極限, 定積分と不等式		
	7. 定積分の部分積分法			
3	8. 定積分の種々の問題	曲線 $y=f(x)$ で定まる図形の面積, 曲線 $x=g(y)$ で定まる図形の面積, 曲線で囲まれた図形の面積		
	8章 積分法の応用			
3	1. 面積	媒介変数表示と面積		
	2. 体積	定積分と体積, 回転体の体積, 一般の回転体の体積		
3	3. 曲線の長さ	媒介変数表示された曲線の長さ, 曲線 $y=f(x)$ の長さ		
	4. 速度と道のり	直線上を運動する点の道のり, 平面上を運動する点の道のり 微分方程式		

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	高校2年14組(文理特進クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学Ⅱ』(数研出版) 『改訂版 数学Ⅲ』(数研出版)	『マスグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館) 『マスグレード 改訂版 数学Ⅲ』(啓林館) 『フォーカスゴールド 数学Ⅱ+B』(啓林館) 『フォーカスゴールド 数学Ⅲ』(啓林館)

1. 学習の目標

指数と対数, 微分法と積分法, 関数, 極限, 微分法, 微分法的应用, 積分法, 積分法的应用について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決する。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数 6章 微分法と 積分法 1節 微分係数と 導関数	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質 対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用 平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味, 関数の極限值 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 関数 x の n 乗の導関数の公式の証明	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	5	1. 微分係数 2. 導関数 2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと 方程式・不等式	接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大, 極小 方程式の実数解の個数, 不等式の証明	
	6	3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積 3章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数 合成関数 4章 極限 1節 数列の極限	導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積, 放物線と直線で囲まれた図形の面積 $y=k/x$ のグラフ, $y=k/(x-p)+q$ のグラフ, $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフ, 分数関数のグラフと直線の共有点 $y=\sqrt{ax}$ のグラフ, $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフ, 無理関数のグラフと直線の共有点 逆関数, 逆関数の性質, 指数関数の逆関数, 合成関数 数列の収束と発散, 数列の極限の性質 無限等比数列の極限, 無限等比数列の極限の応用,	

2	7	1. 数列の極限	漸化式で定められる数列の極限	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
		2. 無限等比数列	無限級数の収束と発散, 無限等比級数, 循環小数と無限等比級数, 無限級数の性質, 無限級数の収束・発散と項の極限	
		3. 無限級数		
	2節 関数の極限	$x \rightarrow a$ のときの関数の極限とその性質, 極限の計算, 極限が有限な値でない場合, 関数の片側からの極限, $x \rightarrow \infty, x \rightarrow -\infty$ のときの関数の極限, 指数関数, 対数関数の極限		
	4. 関数の極限			
	5. 三角関数と極限		三角関数の極限, $\sin x/x$ の極限, 三角関数の極限の応用	
	9	6. 関数の連続性	関数の連続性, 連続関数の性質, 微分係数, 微分可能と連続, 導関数	
		5章 微分法	導関数の性質, 積の導関数, 商の導関数, 合成関数の微分法	
		1. 微分係数と導関数	三角関数の導関数, 対数関数の導関数, 指数関数の導関数	
	10	2. 導関数の計算	方程式 $F(x, y)=0$ で定められる関数の導関数, 媒介変数表示と導関数	
		3. いろいろな関数の導関数		
		4. 第 n 次導関数		
11	5. 関数のいろいろな表し方と導関数	曲線 $y=f(x)$ の接線と法線, 共有点で同じ接線をもつ2つの曲線		
	6章 微分法の応用	$F(x, y)=0$ で表される曲線の接線と法線, 方程式の重解と微分		
	1節 導関数の応用	平均値の定理, 平均値の定理の利用, 平均値の定理の証明		
12	1. 接線と法線	関数の増加と減少, 関数の極大と極小		
	2. 平均値の定理	曲線の凹凸, 関数のグラフの概形, 第2次導関数と極限 不等式の証明, 方程式の実数解の個数		
	3. 関数の値の変化			
4. 関数の最大最小				
1	5. 関数のグラフ	直線上の点の運動, 平面上の点の運動 1次と2次の近似式		
	6. 方程式, 不等式への応用			
	2節 速度と近似式			
3	7. 速度と加速度	不定積分, 不定積分の基本性質, 三角関数, 指数関数の不定積分		
	8. 近似式			
	7章 積分法		$f(ax+b)$ の不定積分, 置換積分法, $f(g(x))g'(x)$ の不定積分, $g'(x)/g(x)$ の不定積分	
2	1節 不定積分	分数関数の不定積分, 三角関数に関する不定積分		
	1. 不定積分とその基本性質	定積分, 定積分の性質, 絶対値のついた関数の定積分		
	2. 置換積分法	定積分の置換積分法, 偶関数, 奇関数の定積分		
3	3. 部分積分法	定積分で表された関数, 定積分と和の極限, 定積分と不等式		
	4. いろいろな関数の不定積分			
	2節 定積分			
3	5. 定積分とその基本性質	曲線 $y=f(x)$ で定まる図形の面積, 曲線 $x=g(y)$ で定まる図形の面積, 曲線で囲まれた図形の面積 媒介変数表示と面積		
	6. 定積分の置換積分法			
	7. 定積分の部分積分法			
3	8. 定積分の種々の問題	定積分と体積, 回転体の体積, 一般の回転体の体積		
	8章 積分法の応用	媒介変数表示された曲線の長さ, 曲線 $y=f(x)$ の長さ		
	1. 面積	直線上を運動する点の道のり, 平面上を運動する点の道のり 微分方程式		

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	2	高校2年1～6組 (文系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『数学B』(数研出版)	『マスメグレート数学Ⅱ+B』(啓林館) 『はぎ取り式 練習ドリル数学B標準編』(数研出版)

1. 学習の目標

平面上のベクトル, 空間のベクトル, 数列について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身に付けるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決する。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1章 平面上のベクトル	有向線分とベクトル, ベクトルの相等 ベクトルの加法, 逆ベクトルと零ベクトル, ベクトルの減法, ベクトルの実数倍, ベクトルの平行, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
		1節 平面上のベクトルとその演算		
		1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分		
	5	4. ベクトルの内積	ベクトルの内積, 内積と成分, ベクトルのなす角, 内積の性質, 三角形の面積	
		2節 ベクトルと平面図形	位置ベクトル, 線分の内分点・外分点の位置ベクトル, 三角形の重心の位置ベクトル 一直線上の点, 2直線の交点, 内積の利用	
	6	5. 位置ベクトル		
		6. ベクトルと図形		
2	9	7. ベクトル方程式	直線と方向ベクトル, 異なる2点を通る直線のベクトル方程式, 平面上の点の存在範囲, 直線と法線ベクトル, 円のベクトル方程式, 点と直線の距離, 点の存在範囲の図示	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
		2章 空間のベクトル	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解	
		1. 空間の座標 2. 空間のベクトル		
7	3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分		
			5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形	一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線 線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式, 平面の方程式, 直線の方程式
7. 座標空間における図形				

3	10	3章 数列 1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和	等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和 等比数列, 等比数列の和, 複利計算と等比数列	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	11	3. 等比数列とその和 4. 和の記号 Σ	累乗の和, 和の記号 Σ , Σ の性質 階差数列, 数列の和と一般項	
	12	5. 階差数列 6. いろいろな 数列の和	和の求め方の工夫, 群数列	
	1	2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列	漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式的应用, 確率と漸化式, 隣接3項間の漸化式, 2つの数列の漸化式	
	2			
	3	8. 数学的帰納法	数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	2	高校2年12組 (文系特進クラス)

使用教科書	副教材
『数学B 改訂版』(数研出版)	『マスマスグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館) 『フォーカスゴールド 数学Ⅱ+B』(啓林館)

1. 学習の目標

平面上のベクトル, 空間のベクトル, 数列について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1章 平面上のベクトル 2節 ベクトルと平面図形 7.ベクトル方程式	直線と方向ベクトル 異なる2点を通る直線のベクトル方程式 平面上の点の存在範囲, 直線と法線ベクトル, 円のベクトル方程式 空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル 一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用 座標空間における直線	定期試験 小テスト 提出物 等
		5		
	6	1. 空間の座標		
		2. 空間のベクトル		
		3. ベクトルの成分		
	7	4. ベクトルの内積		
		5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形		
2	9	7. 座標空間における図形	線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	10	3章 数列 1節 数列とその和 1. 数列	数列	
		2. 等差数列とその和	等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和	
	11	3. 等比数列とその和	等比数列, 等比数列の和	
		4. 和の記号 Σ	累乗の和, 和の記号 Σ , Σ の性質	
5. 階差数列 6. いろいろな数列		階差数列, 数列の和と一般項 和の求め方の工夫, 群数列		

3	12	の和		
	1	2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列	漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式の応用	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	2	8. 数学的帰納法	数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明	
	3		数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法	
	総合復習			

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	3	高校2年7～11組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 数学B』(数研出版) 『改訂版 数学Ⅲ』(数研出版)	『マスグレード 改訂版 数学Ⅱ+B』(啓林館) 『マスグレード 改訂版 数学Ⅲ』(啓林館) 『はぎ取り式 練習ドリル 数学B 標準編』(数研出版) 『はぎ取り式 練習ドリル 数学Ⅲ 標準編』(数研出版)

1. 学習の目標

平面上のベクトル, 空間のベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身に付けるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識する。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとしている。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決しようとしている。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【数学B】 1章 平面上のベクトル 1節 平面上のベクトルとその演算	有向線分とベクトル, ベクトルの相等 ベクトルの加法, 逆ベクトルと零ベクトル, ベクトルの減法, ベクトルの実数倍, ベクトルの平行, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 ベクトルの内積, 内積と成分, ベクトルのなす角, 内積の性質	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
		1. 平面上のベクトル		
		2. ベクトルの演算		
		3. ベクトルの成分		
	5	4. ベクトルの内積		
		2節 ベクトルと平面図形		
		5. 位置ベクトル		
6	6. ベクトルと図形			
	7. ベクトル方程式			
	2章 空間のベクトル			
2	9	1. 空間の座標	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル 一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線 線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式 数列	授業への取り組み 定期試験 小テスト
		2. 空間のベクトル		
		3. ベクトルの成分		
	4. ベクトルの内積			
	5. 位置ベクトル			
	6. ベクトルと図形			
7	7. 座標空間における図形			
9	3章 数列 1節 数列とその和 1. 数列			

		<p>2. 等差数列とその和</p> <p>3. 等比数列とその和</p> <p>4. 和の記号Σ</p> <p>5. 階差数列</p> <p>6. いろいろな数列の和</p>	<p>等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和</p> <p>等比数列, 等比数列の和</p> <p>累乗の和, 和の記号Σ, Σの性質</p> <p>階差数列, 数列の和と一般項</p> <p>和の求め方の工夫, 群数列</p>	提出物 等
	10	<p>2節 数学的帰納法</p> <p>7. 漸化式と数列</p> <p>8. 数学的帰納法</p>	<p>漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式の応用</p> <p>数学的帰納法による等式の証明,</p> <p>数学的帰納法による整数の性質の証明,</p> <p>数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法</p>	
	11	<p>【数学Ⅲ】</p> <p>1章 複素数平面</p> <p>1. 複素数平面</p> <p>2. 複素数の極形式と乗法, 除法</p> <p>3. ド・モアブルの定理</p> <p>4. 複素数と図形</p>	<p>複素数平面, 複素数の実数倍, 複素数の加法・減法, 共役な複素数, 絶対値と2点間の距離</p> <p>極形式, 複素数の乗法・除法, 複素数の積と商の図形的な意味</p> <p>ド・モアブルの定理, n乗根</p> <p>線分の内分点・外分点, 方程式の表す図形, 一般の点を中心とする回転, 半直線のなす角</p>	
	12	<p>2章 式と曲線</p> <p>1節 2次曲線</p> <p>1. 放物線</p>	<p>放物線の方程式, y軸を軸とする放物線</p>	
3	1	<p>2. 楕円</p> <p>3. 双曲線</p> <p>4. 2次曲線の平行移動</p> <p>5. 2次曲線と直線</p> <p>6. 2次曲線の性質</p>	<p>楕円の方程式, 焦点がy軸上にある楕円, 円と楕円, 軌跡と楕円</p> <p>双曲線の方程式, 焦点がy軸上にある双曲線, 直角双曲線</p> <p>曲線$F(x, y)=0$の平行移動, $ax^2+by^2+cx+dy+e=0$の表す図形</p> <p>2次曲線と直線の共有点, 2次曲線の接線の方程式</p> <p>2次曲線の性質</p>	授業への取り組み 学年末試験 小テスト 提出物 等
	2	<p>2節 媒介変数表示と極座標</p> <p>7. 曲線の媒介変数表示</p> <p>8. 極座標と極方程式</p>	<p>媒介変数表示, 直線群と媒介変数表示, 一般角θを用いた円の媒介変数表示, 楕円の媒介変数表示, 双曲線の媒介変数表示, 媒介変数で表された曲線の平行移動, サイクロイド</p> <p>極座標, 極座標と直交座標の関係, 極方程式, 2次曲線の極方程式</p>	
	3	<p>9. コンピュータといろいろな曲線</p>	<p>媒介変数で表された曲線, 極方程式で表された曲線</p>	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	3	高校2年13～14組 (特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『数学B』(数研出版) 『数学III』(数研出版)	『マスマスグレード 数学II+B, III』(啓林館) 『FocusGold 数学II+B, III』(啓林館)

1. 学習の目標

ベクトルや数列, 複素数平面や式と曲線について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを活用する能力を身に付ける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して, ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおける考え方に関心をもつとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識し, それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して, ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおける数学的な見方や考え方を身に付け, 事象を数学的にとらえ, 論理的に考察するとともに過程を振り返り多面的・発展的に考える。	ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおいて, 事象を数学的に考察し, 表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け, 的確に問題を解決する。	ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおける基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【数学B】 7.ベクトル方程式	直線と方向ベクトル, 異なる2点を通る直線のベクトル方程式, 平面上の点の存在範囲, 直線と法線ベクトル, 円のベクトル方程式, 点と直線の距離, 点の存在範囲の図示	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	5	2章 空間のベクトル 1.空間の座標	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解	
	6	2.空間のベクトル 3.ベクトルの成分 4.ベクトルの内積 5.位置ベクトル 6.ベクトルと図形	ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線	
	7	7.座標空間における図形	線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式, 平面の方程式, 直線の方程式	
2	9	3章 数列 1節 数列とその和 1.数列 2.等差数列とその和	等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	10	3.等比数列とその和 4.和の記号Σ 5.階差数列 6.いろいろな数列の和	等比数列, 等比数列の和 累乗の和, 和の記号Σ, Σの性質 階差数列, 数列の和と一般項 和の求め方の工夫, 群数列	
		2節 数学的帰納法 7.漸化式と数列	漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式の応用, 確率と漸化式, 隣接3項間の漸化式, 2つの数列の漸化式	
		8.数学的帰納法	数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性	

3	11	【数学Ⅲ】 第1章 複素数平面 1. 複素数平面	質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法 複素数平面, 複素数の実数倍, 複素数の加法減法, 共役な複素数, 絶対値と2点間の距離	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 等
	12	2. 複素数の極形式と乗法, 除法	極形式, 複素数の乗法除法, 複素数の積と商の図形的な意味	
	1	3. ド・モアールの定理 4. 複素数と図形	ド・モアールの定理, n乗根, 線分の内分点外分点, 方程式の表す図形, 一般の点を中心とする回転, 半直線のなす角, $w=1/z$ が描く図形	
		第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線	放物線の方程式, y軸を軸とする放物線 楕円の方程式, 焦点がy軸上にある楕円, 円と楕円, 軌跡と楕円 双曲線の方程式, 焦点がy軸上にある双曲線, 直角双曲線	
	2	4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質 第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示	曲線の平行移動, $ax^2+by^2+cx+dy+e=0$ の表す図形 2次曲線と直線の共有点, 2次曲線の接線の方程式, 接線の方程式の一般形 媒介変数表示, 直線群と媒介変数表示, 一般角を用いた円の媒介変数表示, 楕円の媒介変数表示, 双曲線の媒介変数表示, 媒介変数で表示された曲線の平行移動, サイクロイド, いろいろな曲線の媒介変数表示	
	3	8. 極座標と極方程式 9. コンピュータといろいろな曲線	極座標, 極座標と直交座標の関係, 極方程式, 2次曲線の極方程式 媒介変数で表された曲線, 極方程式で表された曲線	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	高校2年7～8組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 総合物理1』(数研出版) 『改訂版 総合物理2』(数研出版)	『センサー総合物理 補訂版+物理 (Libry)』(啓林館)

1. 学習の目標

物理の問題を解く上での考え方や、解答の導き方などを、基礎的な内容を中心に問題演習を行いながら身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
意欲的に授業へ参加し、事象を理論的に解釈しようとしている。	問題演習を通して、解答のプロセスを理解している。	レポート提出などの課題を通して、内容をわかりやすくまとめられている。	定期試験や小テストにより、授業内容を理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1編 力と運動 運動の表し方 運動の法則	速度、加速度、落体の運動 力とそのはたらき、力のつり合い、運動の法則、摩擦を受ける運動、液体や気体から受ける力、剛体にはたらく力のつり合い	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 出席状況
	5	仕事と力学的エネルギー	仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの保存	
	6	運動量の保存 円運動と万有引力	運動量と力積、運動量保存則、反発係数 等速円運動、慣性力、単振動、万有引力	
2	7			
	9	第2編 熱と気体 熱と物質 気体のエネルギーと状態変化	熱と熱量、熱と物質の状態、熱と仕事 気体の法則、気体の分子運動、気体の状態変化、エネルギーの移り変わり	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 出席状況
	10	第3編 波 波の性質 音	波と媒質の運動、正弦波の式、波の伝わり方 音の性質、発音体の振動と共振・共鳴、音のドップラー効果	
3	11	光	光の性質、レンズと鏡、光の干渉と回折	
	1	第4編 電気と磁気 電場	静電気力、電場、電位、物質と電場、コンデンサー	授業への取り組み 提出物 小テスト 学年末試験 出席状況
	2	電流	オームの法則、直流回路、半導体	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	高校2年14組 (文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 総合物理1』(数研出版) 『改訂版 総合物理2』(数研出版)	『センサー総合物理 補訂版+物理 (Libry)』(啓林館)

1. 学習の目標

物理の問題を解く上での考え方や、解答の導き方などを、基礎的な内容を中心に問題演習を行いながら身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
意欲的に授業へ参加し、事象を理論的に解釈しようとしている。	問題演習を通して、解答のプロセスを理解している。	レポート提出などの課題を通して、内容をわかりやすくまとめられている。	定期試験や小テストにより、授業内容を理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1編 力と運動 運動の表し方 運動の法則 仕事と力学的エネルギー	速度、加速度、落体の運動 力とそのはたらき、力のつり合い、運動の法則、摩擦を受ける運動、液体や気体から受ける力、剛体にはたらく力のつり合い 仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの保存	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 出席状況
	5	運動量の保存 円運動と万有引力	運動量と力積、運動量保存則、反発係数 等速円運動、慣性力、単振動、万有引力	
	6	第2編 熱と気体 熱と物質	熱と熱量、熱と物質の状態、熱と仕事	
	7	気体のエネルギーと状態変化	気体の法則、気体の分子運動、気体の状態変化、エネルギーの移り変わり	
2	9	第3編 波 波の性質 音	波と媒質の運動、正弦波の式、波の伝わり方 音の性質、発音体の振動と共振・共鳴、音のドップラー効果	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 出席状況
	10	光	光の性質、レンズと鏡、光の干渉と回折	
	11	第4編 電気と磁気 電場 電流	静電気力、電場、電位、物質と電場、コンデンサー オームの法則、直流回路、半導体	
3	1	電流と磁場	磁場、電流の作る磁場、電流が磁場から受ける力、ローレンツ力	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 出席状況
	2	電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則、自己誘導と相互誘導、交流の発生、交流回路、電磁波	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	3	高校2学年7～11組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂 高等学校 化学』(第一学習社)	『セミナー化学基礎+化学』(第一学習社) 『フォトサイエンス化学図録』(数研出版)

1. 学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身に付ける。また、物質の構成粒子の、基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付ける。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断する。	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第II章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解	イオン化傾向の差によって電流が流れる電池の仕組みと、具体的な例について学習する。 酸化還元反応の一種であり、電流を流すことで強制的に反応を起こす仕組みについて学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	5	第I章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 第2節 物質の三態と熱運動	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 飽和蒸気圧と蒸気圧曲線の関係を理解する。	
	6	第3節 気体の性質 第4節 溶液の性質 ①溶解と溶液 ②希薄溶液の性質 ③コロイド	体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念、応用について学習する。 混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。 飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。	

2	7		コロイド粒子の性質を学習する。 熱化学方程式作り方の習得，ヘスの法則を理解する。	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	9	第Ⅱ章 物質の変化と平衡		
	10	第1節 物質とエネルギー	反応速度及び反応速度式を理解する。 化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から，弱酸・弱塩基の溶液や緩衝液のpHを求める。	
	11	第3節 化学反応の速さ	元素の分類を理解する。 水素，その化合物について性質や用途を学習する。	
		第4節 化学平衡	希ガスについて，性質や用途を学習する。	
		第5節 電離平衡	ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。	
		第Ⅲ章 無機物質		
		第1節 非金属元素の単体と化合物		
	12	①元素の分類と性質	窒素，リンとその化合物について性質や用途を学習する。	
		②水素③希ガス	炭素，ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。	
		④ハロゲン	アルカリ金属とその化合物について性質や用途を学習する。	
		⑤酸素・硫黄	2族元素とその化合物について性質や用途を学習する。	
	⑥窒素・リン	両性元素の単体・水銀とその化合物について性質や用途を学習する。		
	⑦炭素・ケイ素			
	第2節 金属元素の単体とその化合物			
	①アルカリ金属	銅，銀，鉄，クロム，マンガンとその化合物について性質や用途を学習する。		
	②2族元素	金属イオンの定性分析について学習する。		
	③両性元素・水銀	炭化水素や，官能基をもつ有機化合物の性質や反応性がその構造に特徴づけられることを見出す。		
	第3節 遷移元素の単体とその化合物	構造式からその性質や反応性を考察，判断する。		
	①鉄	構造異性体の関係を理解し，知識を身に付ける。		
	②銅	代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。		
	③銀	有機化合物の性質や反応性について，日常生活に関連付けて理解する。		
	④クロム・マンガン	官能基の性質に対する知識を身に付ける。		
	⑤金属イオンの定性分析			
3	1	IV章 有機化合物		学年末試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	1	第1節 有機化合物の特徴と構造	脂肪族炭化水素の性質や反応性，①と②の性質の相違を学習する。	
	2	①特徴と分類		
		②化学式の決定		
		第2節 脂肪族炭化水素		
		① アルカンとシクロアルカン		
	3	② アルケンとアルキン		

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	3	高校2学年14組(文理特進クラス)

使用教科書	副教材
『改訂 高等学校 化学』(第一学習社)	『セミナー化学基礎+化学 (Libry) 』(第一学習社) 『フォトサイエンス化学図録』(数研出版)

1. 学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身に付ける。また、物質の構成粒子の、基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断している。	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現している。	観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解	イオン化傾向の差によって電流が流れる電池の仕組みと、具体的な例について学習する。 酸化還元反応の一種であり、電流を流すことで強制的に反応を起こす仕組みについて学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	5	第Ⅰ章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 第2節 物質の三態と熱運動 第3節 気体の性質	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念、応用について学習する。 混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。	
	6	第4節 溶液の性質	飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。 コロイド粒子の性質を学習する。	
	7	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第1節 物質とエネルギー 第3節 化学反応の速さ 第4節 化学平衡 (電離平衡含む)	熱化学方程式作り方の習得の法則を理解する。 反応速度及び反応速度式を理解する。 化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から以下の内容を学習する	
2	9			定期試験 授業への取り組み

3	10	第Ⅲ章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物	元素の分類を理解する。 水素、その化合物について性質や用途を学習する。 希ガスについて、性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。 窒素、リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素、ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。	提出物 小テスト	
	11	①元素の分類と性質 ②水素③希ガス ④ハロゲン ⑤酸素・硫黄 ⑥窒素・リン ⑦炭素・ケイ素			
	12	第2節 金属元素の単体とその化合物	アルカリ金属とその化合物について性質や用途を学習する。 2族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性元素の単体・水銀とその化合物について性質や用途を学習する。		
	1	①アルカリ金属 ②2族元素 ③両性元素・水銀			
	2	第3節 遷移元素の単体とその化合物	銅、銀、鉄、クロム、マンガンとその化合物について性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。		
	3	①鉄 ②銅 ③銀 ④クロム・マンガン ⑤金属イオンの定性分析			
	1	IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と構造	炭化水素や、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性がその構造に特徴づけられることを見出す。 構造式からその性質や反応性を考察、判断する。 構造異性体の関係を理解し、知識を身に付ける。 代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。 有機化合物の性質や反応性について、日常生活に関連付けて理解する。 官能基の性質に対する知識を身に付ける。		学年末試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	2	第2節 脂肪族炭化水素	脂肪族炭化水素の性質や反応性、①と②の性質の相違を学習する。		
	3	① アルカンとシクロアルカン ② アルケンとアルキン			
	1	第3節 酸素を含む脂肪族化合物	酸素を含むことにより、性質の相違、反応性について学習する。 ①と②と③の関連性、④との関連性について学習する。		
2	①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸とエステル ④油脂とセッケン				
3	第4節 芳香族化合物	芳香族化合物について、性質や反応性の相違を学習する。 また脂肪族化合物との相違についても学習する			
1	① 芳香族炭化水素 ② 酸素を含む芳香族化合物	① 芳香族炭化水素 ② フェノール類、芳香族カルボン酸			
2	③ その他の原子を含む芳香族化合物 ④ 有機化合物の分離	③ 芳香族アミンとそれに付随する化合物 ④ 性質の相違を利用した分離方法を学習する			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	3	高校2年9～11組 (理系総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『生物 改訂版』(東京書籍)	『スクエア 最新図説生物』(第一学習社), 『セミナー 生物』(第一学習社)

1. 学習の目標

生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探究する方法や姿勢を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探究する姿勢を身につけている。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をしている。	生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付け、結果から出した考えを的確に表現することができる。	生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1編 生命現象と物質 1章 生物物質と細胞	細胞の構造とはたらきについて学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	5	2章 タンパク質の構造と酵素 3章 細胞間の相互作用とタンパク質	タンパク質の構造や酵素としてはたらくタンパク質について学習する。 タンパク質のさまざまな働き(輸送・情報伝達・免疫・細胞接着)について学習する。	
	6	4章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製	エネルギー変化と化学反応、呼吸・発酵と解糖・光合成・化学合成・窒素同化について学習する。 DNAの構造と複製について学習する。	
2	9	2章 遺伝情報の発現 3章 遺伝子の発現調節	遺伝情報の流れ・転写翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。 原核細胞と真核細胞の遺伝子発現調節・選択的遺伝子発現について学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	10	4章 バイオテクノロジー	目的の遺伝子を増やす・遺伝子の情報を読む・遺伝子を細胞に導入する・バイオテクノロジーの進展と課題について学習する。	
	11	3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	有性生殖・染色体と遺伝子・減数分裂・減数分裂でもたらされる遺伝的多様性・遺伝子の連鎖と組み換え・遺伝現象との関連について学習する。 動物の配偶子形成・動物の受精・ウニとカエルの発生について学習する。	
3	1	2章 動物の発生 3章 動物の発生のしくみ	動物の体軸とその決定・胚の細胞の発生運命と原腸形成、分化と誘導・動物に共通する形づくりのしくみ発生とゲノムについて学習する。	授業への取り組み 提出物 定期試験 小テスト
	2	4章 植物の発生	被子植物の生殖と胚発生・被子植物の器官分化について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	3	2年14組(文理特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂生物』(東京書籍)	『九訂版スクエア最新図説生物』(第一学習社) 『セミナー 生物』(第一学習社)

1. 学習の目標

生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会との関わりを考えるために必要な科学的素養を高める。多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探究する方法や姿勢を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
・生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探究する姿勢を身につけている。	・生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断ができています。	・生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けて、結果から出した考えを的確に表現することができる。	・生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1編 生命現象と物質 1章 生物物質と細胞	細胞の構造とはたらきについて学習する。	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	5	2章 タンパク質の構造と酵素 3章 細胞間の相互作用とタンパク質	タンパク質の構造や酵素としてはたらくタンパク質について学習する。タンパク質のさまざまな働き(輸送・情報伝達・免疫・細胞接着)について学習する。	
	6	4章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製 2章 遺伝情報の発現	エネルギー変化と化学反応、呼吸・発酵と解糖・光合成・化学合成・窒素同化について学習する。 DNAの構造と複製について学習する。 遺伝情報の流れ・転写翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。	
2	9	3章 遺伝子の発現調節	原核細胞と真核細胞の遺伝子発現調節・選択的遺伝子発現について学習する。	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
		4章 バイオテクノロジー	目的の遺伝子を増やす・遺伝子の情報を読む・遺伝子を細胞に導入する・バイオテクノロジーの進展と課題について学習する。	
	10	3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	有性生殖・染色体と遺伝子・減数分裂・減数分裂でもたらされる遺伝的多様性・遺伝子の連鎖と組み換え・遺伝現象との関連について学習する。	
		2章 動物の発生	動物の配偶子形成・動物の受精・ウニとカエルの発生について学習する。	
11	3章 動物の発生のしくみ	動物の体軸とその決定・胚の細胞の発生運命と原腸形成、分化と誘導・動物に共通する形づくりのしくみ発生とゲノムについて学習する。		
3	1	4章 植物の発生	被子植物の生殖と胚発生・被子植物の器官分化について学習する。	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
		4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応	刺激の受容から反応への情報の流れ・ニューロンの興奮・伝導と伝達・受容器・中枢神経系での情報処理・効果器について学習する。	
	2	2章 動物の行動 3章 植物の環境応答	動物の行動について学習する。 環境に応じた植物の一生と植物ホルモン・環境要因による成長等の調節・ストレスに対する応答について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	4	高校2年13組 (理系特進進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂版 総合物理1』(数研出版) 『改訂版 総合物理2』(数研出版)	『センサー総合物理 補訂版+物理 (Libry)』(啓林館)

1. 学習の目標

物理の問題を解く上での考え方や、解答の導き方などを、基礎的な内容を中心に問題演習を行いながら身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
意欲的に授業へ参加し、事象を理論的に解釈しようとしている。	問題演習を通して、解答のプロセスを理解している。	レポート提出などの課題を通して、内容をわかりやすくまとめられている。	定期試験や小テストにより、授業内容を理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1編 力と運動 運動の表し方 運動の法則 仕事と力学的エネルギー 運動量の保存	速度、加速度、落体の運動 力とそのはたらき、力のつり合い、運動の法則、摩擦を受ける運動、液体や気体から受ける力、剛体にはたらく力のつり合い 仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの保存 運動量と力積、運動量保存則、反発係数	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 出席状況
	5	円運動と万有引力 第2編 熱と気体 熱と物質 気体のエネルギーと状態変化	等速円運動、慣性力、単振動、万有引力 熱と熱量、熱と物質の状態、熱と仕事 気体の法則、気体の分子運動、気体の状態変化、エネルギーの移り変わり	
	6 7	第3編 波 波の性質 音	波と媒質の運動、正弦波の式、波の伝わり方 音の性質、発音体の振動と共振・共鳴、音のドップラー効果	
2	9	光 第4編 電気と磁気 電場 電流	光の性質、レンズと鏡、光の干渉と回折 静電気力、電場、電位、物質と電場、コンデンサー オームの法則、直流回路、半導体	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 出席状況
	10	電流と磁場	磁場、電流の作る磁場、電流が磁場から受ける力、ローレンツ力	
	11	電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則、自己誘導と相互誘導、交流の発生、交流回路、電磁波	
3	1	第5編 原子 電子と光	電子、光の粒子性、X線、粒子の波動性	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験 出席状況
	2	原子と原子核	原子の構造とエネルギー準位、原子核、放射線とその性質、核反応と核エネルギー、素粒子	
	3			

※ 上記の内容は、進捗によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	4	高校2年13組(理系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂 高等学校 化学』(第一学習社)	『セミナー化学基礎+化学 (Libry) 』(第一学習社) 『フォトサイエンス化学図録』(数研出版)

1. 学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身に付ける。また、物質の構成粒子の、基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断している。	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現している。	観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法		
1	4	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解	イオン化傾向の差によって電流が流れる電池の仕組みと、具体的な例について学習する。 酸化還元反応の一種であり、電流を流すことで強制的に反応を起こす仕組みについて学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト		
		5	第Ⅰ章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 第2節 物質の三態と熱運動 第3節 気体の性質		結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念、応用について学習する。 混合気体の圧力の仕組みについて学習する。	
	6		第4節 溶液の性質		理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。 飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。	
			7		第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第1節 物質とエネルギー 第3節	熱化学方程式作り方の習得、ヘスの法則を理解する。
	2				9	化学反応の速さ 第4節 化学平衡 (電離平衡含む)
			10		第Ⅲ章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物	元素の分類を理解する。 水素、その化合物について性質や用途を学習する。
		11	①元素の分類と性質 ②水素			

3	12	③希ガス ④ハロゲン ⑤酸素・硫黄 ⑥窒素・リン ⑦炭素・ケイ素 第2節 金属元素の単体と その化合物 ①アルカリ金属 ②2族元素 ③両性元素・水銀	希ガスについて、性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。 窒素、リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素、ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。 アルカリ金属とその化合物について性質や用途を学習する。 2族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性元素の単体・水銀とその化合物について性質や用途を学習する。	定期試験 授業への取り組み 提出物 小テスト
	1	第3節 遷移元素の単体と	銅、銀、鉄、クロム、マンガンとその化合物について 性質や用途を学習する。	
	2	その化合物 ①鉄 ②銅 ③銀	金属イオンの定性分析について学習する。	
	3	④クロム・マンガン ⑤金属イオンの定性 分析 IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と 構造 ①特徴と分類 ②化学式の決定 第2節 脂肪族炭化水素 ① アルカンと シクロアルカン ② アルケンと アルキン 第3節 酸素を含む脂肪族 化合物 ①アルコールと エーテル ②アルデヒドと ケトン ③カルボン酸と エステル ④油脂とセッケン 第4節 芳香族化合物 ① 芳香族炭化水素 ② 酸素を含む芳香族 化合物 ③ その他の原子を 含む芳香族化合物 ④ 有機化合物の分離 第V章 高分子化合物 第1節 糖類 第2節 タンパク質 第3節 合成高分子 化合物	炭化水素や、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が その構造に特徴づけられることを見出す。 構造式からその性質や反応性を考察、判断する。 構造異性体の関係を理解し、知識を身に付ける。 代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。 有機化合物の性質や反応性について、日常生活に 関連付けて理解する。 官能基の性質に対する知識を身に付ける。 脂肪族炭化水素の性質や反応性、①と②の性質の相違 を学習する。 酸素を含むことにより、性質の相違、反応性について 学習する。 ①と②と③の関連性、④との関連性について学習する。 芳香族化合物について、性質や反応性の相違を学習する。 また脂肪族化合物との相違についても学習する ① 芳香族炭化水素 ② フェノール類、芳香族カルボン酸 ③ 芳香族アミンとそれに付随する化合物 ④ 性質の相違を利用した分離方法を学習する。	
		単糖、二糖、多糖の性質や用途を学習する。 タンパク質とそれを構成するアミノ酸の性質を学習する。 合成繊維、合成樹脂、ゴムの用途や性質を学習する。		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	4	2年13組(理系特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『改訂生物』(東京書籍)	『九訂版スクエア最新図説生物』(第一学習社) 『セミナー 生物』(第一学習社)

1. 学習の目標

生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会との関わりを考えるために必要な科学的素養を高める。多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探究する方法や姿勢を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
・生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探究する姿勢を身につけている。	・生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断ができている。	・生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けて、結果から出した考えを的確に表現することができる。	・生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1編 生命現象と物質 1章 生物物質と細胞	細胞の構造とはたらきについて学習する。	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	5	2章 タンパク質の構造と酵素 3章 細胞間の相互作用とタンパク質	タンパク質の構造や酵素としてはたらくタンパク質について学習する。 タンパク質のさまざまな働き(輸送・情報伝達・免疫・細胞接着)について学習する。	
	6	4章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製 2章 遺伝情報の発現	エネルギー変化と化学反応、呼吸・発酵と解糖・光合成・化学合成・窒素同化について学習する。 DNAの構造と複製について学習する。 遺伝情報の流れ・転写翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。	
2	9	3章 遺伝子の発現調節	原核細胞と真核細胞の遺伝子発現調節・選択的遺伝子発現について学習する。	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
		4章 バイオテクノロジー	目的の遺伝子を増やす・遺伝子の情報を読む・遺伝子を細胞に導入する・バイオテクノロジーの進展と課題について学習する。	
	10	3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	有性生殖・染色体と遺伝子・減数分裂・減数分裂でもたらされる遺伝的多様性・遺伝子の連鎖と組み換え・遺伝現象との関連について学習する。	
		2章 動物の発生	動物の配偶子形成・動物の受精・ウニとカエルの発生について学習する。	
11	3章 動物の発生のしくみ	動物の体軸とその決定・胚の細胞の発生運命と原腸形成、分化と誘導・動物に共通する形づくりのしくみ発生とゲノムについて学習する。		
3	1	4章 植物の発生	被子植物の生殖と胚発生・被子植物の器官分化について学習する。	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
		4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応	刺激の受容から反応への情報の流れ・ニューロンの興奮・伝導と伝達・受容器・中枢神経系での情報処理・効果器について学習する。	
	2	2章 動物の行動 3章 植物の環境応答	動物の行動について学習する。 環境に応じた植物の一生と植物ホルモン・環境要因による成長等の調節・ストレスに対する応答について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	体育	2	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『アクティブスポーツ2020 (総合版)』(大修館書店)	『新版 健康手帳』(大修館書店)

1. 学習の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうようにする。また、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保しつつ、生涯にわたって豊かなスポーツライフが継続できる資質や能力を身につけられるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
各種目の特性に感心をもち、互いに協力しながら積極的に練習に取り組み、運動に親しむことができている。	自己の能力に応じた課題の解決を目指し、安全面に配慮し、練習の方法を工夫している。	各種目の特性に応じた基礎的スキルを身につけ、自己の能力に応じ、向上させている。	各種目の特性や学び方、合理的な練習法、競技や審判の方法を理解し、実践している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○体づくり運動 ・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト	ラジオ体操第一 整列、方向転換、人員点呼、列の増減、行進等 50m走、持久走、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、握力、 長座体前屈、反復横跳び、上体起こし	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 小テスト
	5	○武道・ダンス(選択制) ・剣道 ・柔道 ・創作ダンス	礼法、足さばき、素振りの空間打突、竹刀で受ける打ち込み 基本打突、受け方、応用打突、引き技(応用)、応じ技等 受け身、手技、足技、腰技、約束練習等 創作ダンス作り、発表と鑑賞等	
	6 7	○水泳 ・自由形 ・平泳ぎ ○体育理論 運動・スポーツの学び方 1 スポーツの技術と戦術 2 技能の上達過程と練習 3 効果的な動きのメカニズム	キック・ストローク・呼吸・コンビネーション ・A班(上級)より速く、長く泳ぐ、スタート、ターン タイム計測 ・B班(中級)50m以上・安定したフォームの習得 ・C班(初級)25m以上・基礎からの習得 技術と技能 技術の型に応じた練習 戦術・作戦・戦略 技術の上達過程 効果的な練習方法 動きの開始と持続 動きのコントロール ※体育理論は天候等に応じ適宜実施	

2	9	○体づくり運動 (体育祭練習)	<p>行進, 集団演技, 体育祭での発表</p> <p>個人技能 (サービス, ストローク等) ダブルスのコンビネーション等・簡易ゲーム・試合等</p> <p>個人技能 (パス, シュート, ドリブル, リフティング等) 集団技能 (5対5), 簡易ゲーム, 試合等</p> <p>個人技能 (送球, 投球, 捕球, 打撃, 走塁等) 集団技能 (シートバッティング, シートノック等) 簡易ゲーム・試合等</p> <p>運動・スポーツにおける技能と体力の関係 練習とトレーニングの原理と原則</p> <p>体カトレーニングを支える基礎理論 体カトレーニングの進め方 筋カトレーニング 持久カトレーニング 調整力・柔軟性のトレーニング</p> <p>運動やスポーツによるけがの実態 運動やスポーツをおこなうときに注意すること ※体育理論は天候等に応じ適宜実施</p>	<p>授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 小テスト</p>
	10	・マスゲーム		
	11	○球技Ⅰ (選択制)		
	12	・バドミントン		
		・サッカー		
		・ソフトボール		
	○体育理論 4 技能と体力			
	5 体カトレーニング			
	6 運動やスポーツでの 安全確保			
3	1	○陸上競技 ・長距離走	<p>持久走 (2～6Km程度), タイム計測 呼吸法, ペース走等</p>	<p>授業への取り組み マラソン大会結果 提出物 行動観察 実技試験</p>
	2	○球技Ⅱ (選択制)	<p>個人技能 (ストローク, ポレー, サービス, スマッシュ等) ダブルスのコンビネーション, 簡易ゲーム, 試合等</p> <p>個人技能 (パス, ドリブル, シュート等) 集団技能 (3対2, 3対3, オフェンス, ディフェンス等) 試合等</p> <p>個人技能 (サービス, ストローク, スマッシュ等) シングルス, ダブルスのコンビネーション, 試合等</p>	
	3	・ソフトテニス		
		・ハンドボール		
	・卓球			

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健	1	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
「現代高等保健体育 改訂版」 (大修館書店)	なし

1. 学習の目標

「健康」はいかに自分らしく、よりよく充実した生活を送るための重要な土台となることや、健康を保持増進するために教育面、環境面の支援を組み合わせるおこなうヘルスプロモーションが重要なことを理解する。また、実生活と照らし合わせながら学び、生涯を通じて、健康を自ら考え、適切に意志決定・行動選択ができるようにする。「一人一人がたった一回限りの貴重な人生を今生きている」ということを理解するとともに、自分や他人の生命や生活を心から尊重し、それぞれの幸せを協力して実現しようとする態度を身につけられるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 思考・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
健康・安全に関心を持つことができている。真摯な姿勢で授業にのぞみ、ノートを取り自らまとめる事ができている。	学習内容に対して常に疑問を持ち、日常生活に照らし合わせ自ら考え、取り組み方や実践方法を選択している。	積極的に質問や発言している。また自分やクラスメイトの意見を尊重して学習内容に向き合っている。	保健を身近な問題としてとらえ、正しい知識を身につけ、発言したり、記述したりしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	2単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康	思春期の体と健康 思春期の心と健康	授業への取り組み 提出物 期末試験
		2 性意識と性行動の選択	性意識の変化と異性の尊重 性に関する情報と性行動	
		5	3 結婚生活と健康	
	4 妊娠・出産と健康		受精・妊娠・出産 妊娠・出産期の健康のために	
	6	5 家族計画と人工妊娠中絶	家族計画の意義と避妊法 人工妊娠中絶	
		6 加齢と健康	加齢にともなう心身の変化 中高年期を健やかに過ごすために	
	7	7 高齢者のための社会的取り組み	高齢者の健康課題とその支援 すべての人が健康で安全に暮らすための取り組み	
2	9	8 保健制度とその活用	保健行政の役割と健康づくり 保健サービスの活用	授業への取り組み 提出物 期末試験
		9 医療制度とその活用	医療制度と医療保険のしくみ 医療機関と医療サービスの活用	
	10	10 医薬品と健康	医薬品の種類と使い方 医薬品の安全性のための対策	
		11 さまざまな保健活動や対策	健康づくりのための活動 民間機関の保健活動	
		3単元		

3	11	社会生活と健康 1 大気汚染と健康	国際機関の保健活動 大気汚染の原因と健康影響 大気にかかわる地球規模の問題	授業への取り組み 提出物 学年末試験
		2 水質汚濁・土壌汚染と健康	水質汚濁とその健康影響 土壌汚染とその健康影響 大気汚染, 水質汚濁, 土壌汚染のかかわり	
		3 健康被害の防止と環境対策	環境汚染の防止とその対策 産業廃棄物の処理と健康	
	12	4 環境衛生活動のしくみと働き	ごみの処理 上下水道の整備とし尿の処理	
		1	5 食品衛生活動のしくみと働き 6 食品と環境の保健と私たち	
	2	7 働くことと健康	働くことと健康のかかわり 働き方と健康問題の変化	
		8 労働災害と健康	労働災害とその防止 安全管理と健康管理のしくみ	
	3	9 健康的な職業生活	職場における取り組み 日常生活における取り組み	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2年1組～11組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『LANDMARK English Communication II (啓林館)』	『LANDMARK English Communication II WORKBOOK (啓林館)』, 『Listening Laboratory Standard B (数研出版)』, 『Accel Reading 2 (啓林館)』, 『システム英単語 (駿台文庫)』

1. 学習の目標

<p>日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる力、英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる力、聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする力、聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く力、を身に着ける。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	日常的话题について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。	日常的话题について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現している。	日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	LANDMARK Listening Laboratory	Lesson 1 I'm the Strongest! Unit 1～2	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	5	LANDMARK Listening Laboratory	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle Unit 3～4	
	6	LANDMARK Listening Laboratory	Lesson 3 Saint Bernard Dogs Unit 5～6	
2	7	LANDMARK Listening Laboratory	Lesson 4 Chanel's Style Unit 7～8	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	9	LANDMARK Listening Laboratory	Lesson 5 Science of Love Unit 9～10	
	10	LANDMARK Listening Laboratory	Lesson 6 Gaudi and His Messenger Unit 11～12	
	11	LANDMARK Listening Laboratory	Lesson 7 Letters from a Battlefield Unit 13～14	
3	12	LANDMARK Listening Laboratory	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society Unit 15～16	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	1	LANDMARK Listening Laboratory	Lesson 9 AI and Our Future Unit 17	
	2	LANDMARK	Lesson 10 Bhutan: A Happy Country	

		Listening Laboratory	Unit18	
	3	Listening Laboratory	Unit19~20	

※システム英単語及びACCEL READING 2は朝学習や小テスト，休暇中の宿題等に使用する。

※上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2年12組～14組 (特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『LANDMARK English Communication II (啓林館)』	『LANDMARK English Communication II WORKBOOK (啓林館)』, 『Listening Laboratory Standard B (数研出版)』, 『Skill Builder 長文読解演習 入試標準編 (数研出版)』, 『システム英単語 (駿台文庫)』

1. 学習の目標

日常な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる力、英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる力、聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする力、聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く力を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	日常な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。	日常な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現している。	日常な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	LANDMARK	Lesson 1 I'm the Strongest!	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
		Listening Laboratory Skill Builder	Unit 1～2 Lesson 1～2	
	5	LANDMARK	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle	
		Listening Laboratory Skill Builder	Unit 3～4 Lesson 3～4	
6	LANDMARK	Lesson 3 Saint Bernard Dogs		
	Listening Laboratory Skill Builder	Unit 5～6 Lesson 5～6		
7	LANDMARK	Lesson 4 Chanel's Style		
	Listening Laboratory Skill Builder	Unit 7～8 Lesson 7～8		
2	9	LANDMARK	Lesson 5 Science of Love	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
		Listening Laboratory Skill Builder	Unit 9～10 Lesson 9～10	
	10	LANDMARK	Lesson 6 Gaudi and His Messenger	
11	Listening Laboratory Skill Builder	Unit 11～12 Lesson 11～12		
	LANDMARK	Lesson 7 Letters from a Battlefield		
Listening Laboratory Skill Builder	Unit 13～14 Lesson 13～14			

3	12	LANDMARK Listening Laboratory Skill Builder	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society Unit15~16 Lesson15~16	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	1	LANDMARK Listening Laboratory Skill Builder	Lesson 9 AI and Our Future Unit17 Lesson17	
	2	LANDMARK Listening Laboratory Skill Builder	Lesson10 Bhutan: A Happy Country Unit18 Lesson18	
	3	Skill Builder	Lesson19~20	

※システム英単語は朝学習や小テスト，休暇中の宿題等に使用する。

※上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語表現Ⅱ	3	高校2年1組～11組 (総合進学クラス)

使用教科書	副教材
『DUALSCOPE English Expression Ⅱ』(数研出版)	『DUALSCOPE English Grammar in 27 Stages』(数研出版), 『DUALSCOPE 英語総合演習』(数研出版), 『DUALSCOPE English Expression Ⅱ』(数研出版)

1. 学習の目標

英文法の基本の確認と発展的な問題への取り組みにより実践的な英語力を身に着ける。使用頻度の高い構文を用いて、英語を表現する力を身に着ける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力している。	異文化の考え方、表現の違いを正しく判断し、それに対して正しく反応している。	日常的な話題について、で聞いた、読んだりして、相手が伝えようとする情報を理解し、発信している。	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	DUALSCOPE English Grammar in 27 Stages EXTRA LESSON 4～LESSON 7	語法、否定、強調・倒置・省略 無生物主語・名詞中心の表現	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	5	DUALSCOPE 総合演習 LESSON 1～LESSON 4	文の種類・組み立て、時制 助動詞、動詞の態	
	6	DUALSCOPE 総合演習 LESSON 5～LESSON 8	不定詞 動名詞、分詞	
2	7	DUALSCOPE 総合演習 LESSON 9～LESSON 11	比較 関係詞	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	9	DUALSCOPE 総合演習 LESSON 12～LESSON 14	仮定法 語法、否定・特殊鋼文	
	10	DUALSCOPE 総合演習 LESSON 15～LESSON 17	接続詞、前置詞・名詞・冠詞・代名詞 形容詞・副詞・群動詞	
3	11	DUALSCOPE English Expression Ⅱ Unit 1～Unit 4	一般の人々/非人称の it など、句・節/意味上の主語、無生物主語/名詞構文、現在時制・過去時制・未来を表す表現	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	12	DUALSCOPE English Expression Ⅱ Unit 5～Unit 8	進行形/完了形、助動詞/受動態 仮定法、準動詞の名詞的用法	
	1	DUALSCOPE English Expression Ⅱ Unit 9～Unit 11	文型、使役動詞/知覚動詞 分詞/不定詞/同格	
3	2	DUALSCOPE English Expression Ⅱ Unit 12～Unit 13 Extra Unit 1	関係詞の制限用法 関係詞の非制限用法/複合関係詞 名詞	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	3	DUALSCOPE English Expression Ⅱ	冠詞	

		Extra Unit 2～Extra Unit 3	形容詞 前置詞	
--	--	---------------------------	------------	--

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語表現Ⅱ	3	2年12組～14組 (特別進学クラス)

使用教科書	副教材
『DUALSCOPE English Expression II』(数研出版)	『DUALSCOPE 英語総合演習』(数研出版), 『DUALSCOPE 総合英語』(数研出版), 『英文法・語法問題 GRAMMAR MASTER』(Z会), 『アップリフト英文法 文法項目別演習1000』(Z会)

1. 学習の目標

英文法の基本を確認しながら発展的な問題にも取り組み、実践的な英語力を身につける。演習を重ねることによって既習の知識を定着させ、自信をつける。また英文を書くために必要な発想法や表現方法を学び、英語で表現することに慣れる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
言語活動に関心を持ち、積極的な態度で参加することで、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力している。	異文化の考え方や表現の違いを正しく判断し、対応している。場面や状況に応じた適切な表現を使っている。	日常的话题について、英語で聞いたり読んだりして、相手が伝えようとする情報を理解し、また発信している。	正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身につけているとともに、それを表現するのに必要な文化背景などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson 1, 2	文の種類・組み立て 時制	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson 3～6 アップリフト英文法 第1～5章 GRAMMAR MASTER 第1章 1～5 DUALSCOPE English Expression II	助動詞、動詞の態 不定詞(1), (2) DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲 DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲	
	6	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson 7～10	動名詞、分詞 比較、関係詞(1)	
	7	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson11 アップリフト英文法 第6～8, 10章 GRAMMAR MASTER 第1章 6～8, 10 DUALSCOPE English Expression II	関係詞(2) DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲 DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲 Unit 7～13	
2	9	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson12～13	仮定法 話法	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson14 アップリフト英文法 第11～18章 GRAMMAR MASTER 第1章 11, 14～20 DUALSCOPE English Expression II	否定・特殊構文 DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲 挿入・省略、呼応、語順・疑問 DUALSCOPE 英語総合演習、アップリフトと同範囲 Unit 14～21	

3	11	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson15, 16	接続詞 前置詞・名詞・冠詞・代名詞	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	12	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson17 アップリフト英文法 第9, 13, 19, 20章 GRAMMAR MASTER 第1章 9, 12, 13 第2章 21, 22 DUALSCOPE English Expression II	形容詞・副詞・群動詞 DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲 動詞の語法 DUALSCOPE 英語総合演習, アップリフトと同 範囲 Unit 22~27	
	1	アップリフト英文法 第21~24章	数量表現, 動詞の熟語(1), (2) 形容詞・副詞の熟語	
	2	アップリフト英文法 第25~27章	名詞・前置詞の熟語 多義語, 会話表現	
	3	ランダム演習 GRAMMAR MASTER 第2章 23 第3章 24, 25, 26 第4, 5章 DUALSCOPE English Expression II	アップリフトと同範囲 Unit 28~34	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
家庭	家庭基礎	2	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『家庭基礎 自立・共生・創造』(東京書籍)	なし

1. 学習の目標

家庭生活に必要な知識や技術を身につけ、生活の中の課題を発見し、解決するための意欲・実践的な態度を養うようにする。また、現在の自分を見つめ、自立について考えていくようにする。さらに、環境や社会・家庭経済について学び、共生及び持続可能な社会をつくることを目指すようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
家庭生活や社会・環境に関心をもち、自立するための意欲・実践的な態度を育てている。	広い視野をもち、自ら課題を見つけ、解決するための考え方・判断力を養っている。	基本的な衣食住等の技能を身につけ、生活の質を高める生きる力を養っている。	生涯を通して健康や環境に配慮した生活を送れるよう生活の基本的な知識を身につけ、理解を深めている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法		
1	4	SDGS について	SDGS について学び、家庭基礎の授業を通して理解を深めていくようにする。	授業への取り組み 期末試験 実習作品 提出物 小テスト 出席状況		
	5	衣生活をつくる	基礎縫いを身につけ、お弁当袋を作成する。			
	6	自分らしい人生をつくる	現在の自分を見つめ、青年期の自立について考える。			
	7		家族・家庭について学び、仕事とワークライフバランスなどについて理解を深める。			
	7		18歳成人にむけて、知識・理解を深める。			
	2	9	子どもと共に育つ		子どもの育つ力を理解すると共に、親になった時、地域・社会の一員として、子どものかかわり方などを学び・考える。	授業への取り組み 期末試験 提出物 小テスト 出席状況
			高齢社会を生きる		高齢社会において、高齢者も私たちが共に生き、支えあう関係であることを学び・考える。	
10		食生活をつくる	現代の食生活の課題を知り、栄養・食品・調理の基本的知識・技術を身につけ、食の自立をめざす。			
11			持続可能な食の営みという視点で、これからの食生活を考える。			
12						
3	1	住生活をつくる	住居の機能や間取りについて理解し、安全で快適な住生活を営むための知識を得る。	授業への取り組み 学年末試験 提出物 小テスト 出席状況		
	2	経済生活を営む	家庭経済と消費生活について学び、自立への準備とする。			
	3					

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な探究の時間		1	高校2学年 全クラス

使用教科書	副教材
なし	Classi「ポートフォリオ」機能

1. 学習の目標

<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4			授業への取り組み ポートフォリオ入力
	5			
	6	日藤祭	クラスの催しやクラブ活動の発表・展示等を準備日も含め、3日間にかけて行う。(9時間)	
2	7	水泳球技大会	本校プール・体育館等にて、中学・高校全体の水泳球技大会を行う。(4時間)	授業への取り組み ポートフォリオ入力
	9			
	10	修学旅行	カナダのバンクーバー・ビクトリアに行き、現地校との学校間交流や国際理解教育等を目的とした修学旅行を行う。(13時間)	
	11	体育祭	本校NFグラウンドにて、中学・高校全体の体育祭を行う。(6時間)	
3	12			授業への取り組み ポートフォリオ入力
	1	マラソン大会	「こどもの国」にてマラソン大会を行う。男子は6.4km、女子は4.0kmを走る。(3時間)	
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。